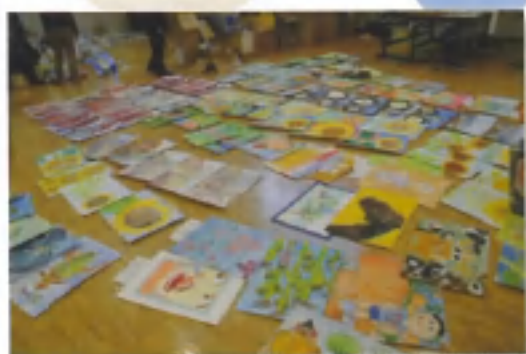


第62回 全道造形教育研究大会 帯広・十勝大会 研究紀要

大会主題「わたしを創る～自立と共生の造形教育を目指して～」

大会テーマ「つくるとき・つながるとき」

研究主題「豊かな心をはぐくむ造形教育」



会期 2012年7月27日(金)

※大会関連事業ワークショップ 7月26日(木)

会場 帯広市立帯広第五中学校

北海道立帯広美術館・帯広市緑ヶ丘公園

主催 北海道造形教育連盟

帯広市教育研究会図工美術部会

十勝管内サークル協議会十勝造形サークル

後援 北海道教育委員会・十勝管内教育委員会連絡協議会

帯広市教育委員会・十勝小・中学校校長会・帯広市校長会

帯広市教育研究会・十勝管内サークル協議会

帯広幼稚園協会・北海道立帯広美術館・帯広百年記念館

帯広市PTA連合会





第62回全道造形教育研究大会

帯広・十勝大会

★大会主題(北海道造形教育連盟研究主題)

【わたしを創る】 自立と共生の造形教育を目指して

★帯広・十勝大会研究テーマ

「つくるとき つながるとき」

★帯広・十勝大会研究主題

「豊かな心をはぐくむ造形教育」

- 期 日 2012年(平成24年)7月27日(金)
※大会関連事業ワークショップ 7月26日
- 会 場 帯広市立帯広第五中学校 (メイン会場)
北海道立帯広美術館 (鑑賞授業公開会場)
帯広市緑ヶ丘公園 (大会関連事業ワークショップ会場)
ランチョ・エルパソ (閉会式・レセプション会場)
- 主 催 北海道教育造形連盟
帯広市教育研究会図工美術部会
十勝管内サークル協議会十勝造形サークル
- 後 援 北海道教育委員会 十勝管内教育委員会連絡協議会
帯広市教育委員会 帯広市校長会
十勝小・中学校校長会 十勝管内サークル協議会
帯広市教育研究会 帯広幼稚園協会
北海道立帯広美術館 帯広百年記念館
帯広市PTA連合会

目次 CONTENTS

あいさつ 1

大会長・北海道造形教育連盟会長 札幌市立旭小学校長 稲實 順
開催地運営委員会委員長 帯広市立帯広第五中学校長 辻 敦郎

祝辞 2

北海道教育庁十勝教育局長 山端 一史 様
帯広市教育委員会教育長 八畝 祐子 様

大会日程・シンボルマーク紹介 3

ワークショップ 4

大会関連事業ワークショップ
講師紹介 美術家 札幌大谷大学短期大学部美術科教授 岡部 昌生 氏

研究の概要 5～18

分科会構成（授業者・提言者・助言者・司会者 一覧）
北海道造形連盟研究概要
帯広・十勝大会研究概要
分科会紹介
ワールドカフェ・シンポジウム

19地区 サークル紹介 19～35

研究のあゆみ・規約・名簿・会場図 37～49

全道造形教育研究大会のあゆみ
北海道造形連盟規約
北海道造形連盟名簿
帯広・十勝大会役員名簿
開催場所のご案内
会場図

帯広・十勝大会の開催にあたって



大会長
北海道造形教育連盟

会長 稲實 順

雄大な自然に囲まれた十勝地方の産業・経済の中心地帯広市において、「第62回全道造形教育研究大会 帯広・十勝大会」が開催されますことに深く感謝申し上げます。

特に、帯広市教育研究図工美術部会並びに十勝造形サークルの皆様には、3カ年の長期にわたり大会に向けての研究推進や運営・連絡調整を行い、本大会を開催されますことに心よりお礼申し上げます。

昨年は、全国各地の方々と共に札幌の地で「わたし」を創る～自立と共生の造形教育をめざして」の主題のもと、豊かな感性を育み、子どもが自ら価値を創る「自立」と友達のよさに共感できる「共生」の造形教育の重要性を発信する研究大会が開催されました。

本大会のテーマ『つくるとき・つながるとき』は、10年前に紡いだ「つくる」という夢を昨年度の大会と絡め、広い大地に紡いだ夢を次につなげていきたいという願いが込められていると思います。

この大会に参加して、私たちは改めて造形美術教育の価値を再発見することだろうと思います。大会で得られた成果や発見を広げながら、造形美術教育の価値が社会に広がっていくことを心から願っております。

最後になりましたが、帯広市教育研究協議会図工美術部会並びに十勝造形サークルの皆様方のご尽力に感謝し、北海道教育委員会、帯広市教育委員会及び各関係者の皆様に心よりお礼申し上げます、大会のご挨拶といたします。

「私たちは、なにをつくり、 なにをつなげるか」



第62回
全道造形教育研究大会
帯広・十勝大会

運営委員長 辻 敦郎

青空の十勝平野に夏の雲が流れ、「第62回全道造形研究大会 帯広・十勝大会」を開催する運びとなりました。心から感謝申し上げます。

帯広では10年ぶりの開催となります。あらためて大会運営委員長として責任の重さを強く感じています。

大会テーマを「つくるとき・つながるとき」としました。「生きることがつくることであり、生きることはつながることである」という至ってシンプルな、しかし簡潔にデザインしづらいこのテーマを、決して譲ることのできない造形教育の使命として、私たちは再び邂逅しようと思いを立ちました。

幸いなことに私たちは平等に10年の月日を重ねました。そして再び集まり、10年前と同じ研究テーマを掲げました。「豊かな心をはぐくむ造形教育」です。全道の造形教育に携わる皆様と時を超えて「語り合う」ことが何よりの楽しみです。

子ども達が持っている心の奥の小さな箱
たとえば一本の地平線
たとえばどこまでも続く青い空
小さな箱の隙間から
それらは、そっと、流れてきて
何かとっても良いことがありそうな
そんな予感・・・

結びになりますが、本大会の開催に当たり、北海道造形教育連盟をはじめ、北海道教育委員会、帯広市教育委員会、校長会や関係機関、会場校と多くの皆様に格別なご支援を賜り、心から敬意と感謝を申し上げます、ご挨拶といたします。

帯広・十勝大会に寄せて



帯広市教育委員会

教育長 八楯祐子

この度、第62回全道造形教育研究大会が10年ぶりに、ここ帯広・十勝において、帯広第五中学校並びに北海道立帯広美術館を会場に開催されますことは、誠に意義深いことであり、心からお慶び申し上げます。

本研究大会では「【わたしを創る】自立と共生の造形教育を目指して」を大会主題に掲げ、「豊かな心をはぐくむ造形教育」を研究主題、「つくるとき つながるとき」をテーマに全道から来られた皆さんがワークショップや公開授業、シンポジウムなど様々な場面で語り合い、造形教育の基盤をなす指導法や題材について研究を深められると伺っております。

自分の感じ方を大切にし、どのように感じたか、どのように表現したかを深め合うことは子どもたちの自己実現の方法を探り、「生きる力」の育成に直結するものであり、「つながり」を意識された実践は図画工作や美術のみならず、教育活動全体、さらには子どもたちの未来を視野に入れたすばらしい取組であります。

「つくる」ことで「つながる」という理念を通して、北海道の造形教育が今後ますます充実・発展されますことを大いにご期待申し上げます。

結びになりますが、会場校をはじめ、授業を提供される教職員の皆様、大会運営に携わってこられました関係各位に深く敬意を表しますとともに、全道各地からお集まりいただきました皆様のご健勝を祈念して、お祝いの言葉といたします。

「帯広・十勝大会」の開催に寄せて



北海道教育庁

十勝教育局長 山端一史

第62回全道造形教育研究大会「帯広・十勝大会」が多くの皆様方をお迎えし、帯広市において開催されますことに、心からお祝い申し上げます。

北海道造形教育連盟におかれましては、長年にわたり、研究大会を開催し、授業公開や研究協議を通して、造形教育にかかわる諸課題の解決に向けた実践研究を積み重ねられるなど、本道における図画工作科、美術科教育の充実・発展に多大な貢献をいただいていることに深く敬意を表する次第であります。

さて、新学習指導要領が全面実施され、図画工作科・美術科においては、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てるとともに、生活の中の造形、美術文化に関心をもって、生涯にわたり主体的にかかわっていく態度をはぐくむことが求められております。

このため、各学校においては、表現や鑑賞の幅広い活動を通して、児童生徒が視覚や触覚などを十分に働かせ、形や色彩、材料などからそれらの性質やイメージなどを豊かに感じ取り、表現活動や鑑賞活動を追求する授業づくりを工夫することが重要であります。

こうした中、本研究大会が「つくるとき、つながるとき」という大会テーマのもと、「豊かな心をはぐくむ造形教育」を研究主題に掲げ、幼稚園、小学校、中学校の授業を公開し、研究を深められますことは、誠に意義深く、多くの成果が得られるものと確信しているところです。

会員並びに御参会の皆様方におかれましては、本大会で示されました実践や取組の成果を、自校において日々の教育活動に生かしていただくことを御期待申し上げます。

結びに、本研究大会の開催に御尽力をいただいた関係各位に深く感謝申し上げますとともに、北海道造形教育連盟のますますの御発展と御参会の皆様のご健勝を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

大会日程

第五中学校会場

8:40	受付
9:00	公開授業
9:50	分科会1 分科会2 分科会3 分科会4
9:50	ワールドカフェ 版画の小径
10:40	開会式
11:10	シンポジウム
12:30	「なぜ今、美術教育か」 パネリスト 岡部昌生氏 他
12:30	昼食・休憩
13:30	分科会
16:00	研究討議 提言
移動をお願いします	
18:00	閉会式 レセプション 会場 ランチョ・エルパン

美術館会場

9:00	受付
9:30	公開授業
10:20	分科会 5 *参加者は棟方志功 展無料です
五中へ移動をお願いします	

シンボルマーク

《帯広・十勝大会シンボルマークデザイン》
帯広市立第一中学校 中村詩織さん 3年

まず、帯広・十勝の大会なので帯広市の象徴である白樺に「62」という文字を描き入れました。更に三本の筆で「つくる時」を表し「つながるとき」は季節が廻るイメージで、葉を紅葉させました。



第62回全道造形教育研究大会 帯広・十勝大会 関連事業

岡部昌生フロッタージュ・プロジェクト

「O-perperke-p 2012 森ニイマス」

～みんなで十勝に触れるワークショップ～



Photo: Nando FRANCO

期日 2012年7月26日(木)

会場 北海道立帯広美術館・帯広市緑ヶ丘公園

講師 美術家 札幌大谷大学短期大学部美術科教授 岡部昌生

森ニイマス

「木は人間よりも前から地球を知っている。だから植物やplantという言い方は、すこし間違っている。ほんとうは、木が人間を植えたのだ」。

全盲の写真家とのヴェネチア・ビエンナーレ(2007)での出会いがヒロシマでの新しい仕事を促しましたが、その「被爆樹に触れて」(『木の教え』2008)のテキストに寄せた港千尋さんの冒頭のことばです。人間にそのような視点を持ったことはありますか。

「オ・ペレペレケ・ツ」は帯広の地名に由来する帯広川を表すアイヌ語地名。[性器・いくつにも割れている・ものO-perperke-p]。河口がいくつにも分かれている意で、帯広の大地をつくる帯広川にいくつもの川が注ぐ土地の様を表した言葉です。アイヌの人にとって「川は古く女性と考えられ」(知里真志保)、その合流点は大地の割れ目にたとえられていたようで、日本語の「娘さん」はオペレO-pereと親愛感をもって言うのだそうです(山田秀三『アイヌ語地名の研究』参照)。先住民の人たちの土地の名のつけかた、自然観や世界の感じ方に驚くとともに、想像力と創造にすぐれた人々であったことが解ります。

「森ニイマス」は、そういうことをアイヌ民族の人たちからも学びながら森と人について考えます。森の生命が謳歌する夏、多くの木々に触れる人々の気持ちが、生のリズムにもつらなる高揚した作業になっていく、色彩豊かな樹皮のフロッタージュが壁を覆い、まるで森が移ってきたかのような豊かな空間になる、そのように想像し、楽しみにしています。

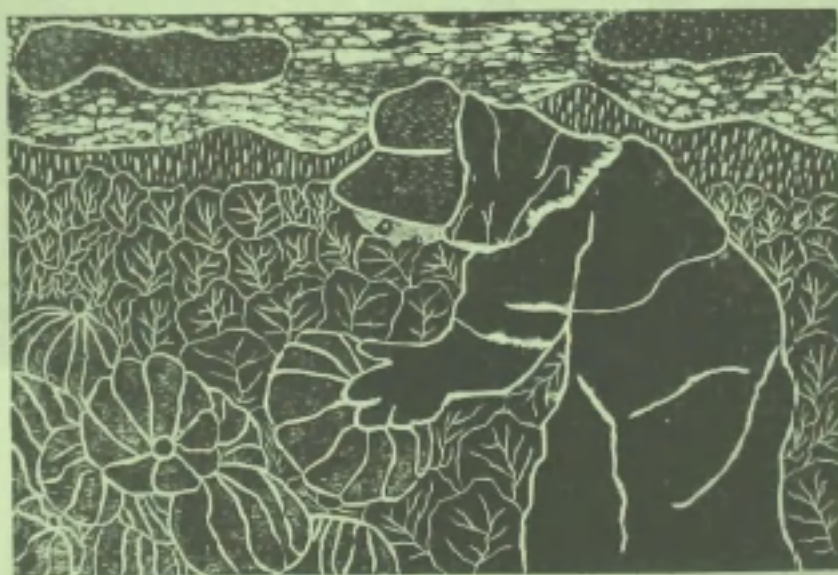
昨年、森の中で多くの人とワークショップを行いました。「都市と森の遠近」。森の中で今の時代を考えます。あいにくと雨の森でしたが、森の気配や匂いが、静かに深く考えさせてくれる場となりました。都市ができる前からある森は、都市の記憶や地域の歴史を抱えた大きな器。人を抱くような大きな木の下で、樹皮に触れながら都市と時代の記憶を採り出す「森ニイマス」です。(美術家 札幌大谷大学短期大学部美術科教授 岡部昌生)

◇講師紹介◇

1942年根室生まれ。フロッタージュによる表現を1977年よりはじめる。1979年のパリのイヴリ・シュルセヌで169点の「都市の皮膚」を制作。80年代後半より広島原爆の痕跡を作品化する作業をはじめ。1988年のヌーサでのコラボレーション以来、市民とのワークショップを積極的に実施、国内外の都市で制作・展覧会活動を展開している。

「ART for the SPIRIT永遠へのまなざし」(北海道立近代美術館2001)、「シンクロニシティ同時生起」(広島市現代美術館2005)、「第52回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館」(2007)、「わたしたちの過去に、未来はあるのか」(港千尋編 東京大学出版会2007)、港千尋とのユニットとして「記憶を汲みあげる」(ローマ日本文化会館2007)、MONAパーマネントコレクション(タスマニア2011)、「事後のイメージ」(バイルート・アートセンター 2011)、「きみは3.11を見たか?」(旧日本銀行広島支店2012)、「個園」(人可藝術中心 杭州2012)、「色は憶えている」(札幌、東京、広島 2012)など。「創造の道」(共同文化社2012)のアートディレクター。

研究の概要



分科会構成

第一分科会 「心をうつす」(版画・合同)

授業者	音更町立下土幌小学校	教諭	池田 圭子
提言者	函館市立深堀中学校	教諭	佐々木 壮一
提言者	浦河町立堺町小学校	教諭	沼田 しずか
助言者	小平町立兜鹿小学校	校長	野島 操
助言者	旭川市立豊岡小学校	教頭	菅原 良和
司会者	新得町立新得小学校	教諭	鈴木 修

第二分科会 「わたしをつくる」 (小学校)

授業者	帯広市立北栄小学校	教諭	金子 里奈
提言者	帯広市立森の里小学校	教諭	木下 桂子
提言者	滝川市立東小学校	教諭	舘山 唯郎
助言者	浜中町立榊町小学校	校長	森 富輝
助言者	帯広市立花園小学校	教頭	黒田 正則
司会者	更別村立上更別小学校	教諭	土橋 直美

第三分科会 「私をつくる」(中学校)

授業者	幕別町立札内東中学校	教諭	神下 朋美
提言者	当別町立当別中学校	教諭	佐藤 哲
提言者	旭川市立東陽中学校	教諭	中村 靖
助言者	幕別町立忠類中学校	校長	佐野 悦子
助言者	根室市立共和小学校	教頭	長谷川 恵美子
司会者	帯広市立大空中学校	教諭	加瀬谷 真理

第四分科会 「みんなで作る」 (幼稚園・小学校)

授業者	学校法人 みどり学園 帯広第二ひまわり幼稚園	教諭	鈴木 みなみ
授業者	帯広市立広場小学校	教諭	岩村 美希
提言者	札幌市立白楊小学校	教諭	菊地 惟史
助言者	学校法人帯広葵学園 つつしが丘幼稚園	園長	奥野 淳一
助言者	北見市立留辺蘂小学校	教頭	里見 貴史
司会者	帯広市立広場小学校	教諭	橋本 英子

第五分科会 「未来へつなぐ」 (中学校・高等学校)

授業者	帯広市立帯広第一中学校	教諭	村中 鉄也
提言者	池田町立池田中学校	教諭	西島 俊貴
提言者	鹿追町立鹿追中学校	教諭	下倉 直江
助言者	北海道立帯広美術館	学芸課長	鎌田 享
助言者	北海道教育庁学校教育局参事	主査	工藤 雅人
司会者	帯広市立翔陽中学校	教諭	神 史明

【北海道造形教育連盟研究主題】

“わたしを創る”～自立と共生の造形教育をめざして～

第62回全道造形教育研究大会 帯広・十勝大会によせて

北海道造形教育連盟研究部長 堀口基一

研究主題について

平成21年(2009年)、北海道の造形教育の歴史という「過去」を振り返り、「今」を見つめ、「未来」をどのように創造していくのか、という熱い議論を積み重ねた結果、新研究主題が産声をあげました。

“わたしを創る”～自立と共生の造形教育をめざして～

今年度で4年目を迎える研究主題は、平成21年(2009年)上川・旭川大会「身体で感じ・心はずませ・想像する」喜びを、平成22年(2010年)函館大会「創造!ときめき!実感!」、平成23年(2011年)北海道大会(全国大会※1)“わたしを創る”～自立と共生の造形教育をめざして～と、毎年行われる全道(全国)造形教育研究大会の大会テーマとして、その理念がリレーされてきました。

本研究主題の理念は、過去の研究からも明らかにされてきた「自己創造の大切さ」を、自己理解と価値創造による「自立した学び」とし、その一人一人の「自立した学び」は、学びの空間と時間を共有した仲間との「共感を基にした温かな学び合い」の中で実現するとしたものです。

このような造形の学びの中で創られていく“わたし”は、将来にわたり学校、地域、社会に向かっても“わたらしい創造性”を発揮しながら自己実現していくことができると考えました。

つながり合う学び

幼少期から青年期までの教育における子どもたちの成長を考えてみます。個々の力強い成長はもとより、他者とのかかわり合いによって柔軟かつ豊かに涵養していくことがわかります。

造形活動では、「もの」や「場所」に積極的に働きかけることで、自分なりの意味を紡ぎ出し、他者とつながり合うことで、安心や満足、時には変更や再考、挑戦など、考えるチャンスを生み出しながら、「こと化」を進め、自分づくりをしていきます。

このような「人と人がつながり合うことで生まれる学び」を見つめながら、造形教育で育むことについてみなさんと語り合い、学び合いたいと思います。

※1) 全国造形教育連盟、日本教育美術連盟 共同開催

大会テーマ
と
研究主題

毎年行われています全道造形教育研究大会では、北海道の研究主題を受けて大会開催地における大会テーマと研究主題を設定しています。

【大会テーマ】 つくるとき・つながるとき
【研究主題】 豊かな心をはぐくむ造形教育

今年度の帯広・十勝大会では、10年前の大会の時に設定した研究主題「豊かな心をはぐくむ造形教育」はそのままに、大会テーマを前回の「広い大地に紡ぐ夢」から今回は「つくるとき・つながるとき」にリニューアルしています。

これらの提案には、この10年間の時代や社会の流れを見つめながら、「変わるもの（変えるべきもの）」と「変わらないもの（変えてはいけないもの）」をじっくり考え、これらの造形教育の基盤とは何かを検証していきたいという大会に寄せる熱い思いがあります。

不易
と
流行

不易と流行について「変わらない美しさ、変わる素晴らしさ」と表現した人がいました。教育の世界にとどまらず、人が幸せに生きて行く上で大切にしたいことです。変わらない美しさは、これまでの長きに渡り積み重ねられて来た「北海道造形教育連盟の財産」であり、帯広・十勝のみなさんが創り上げて来た「帯広・十勝の伝統」にほかなりません。変わる素晴らしさは、本大会での「今、ここで」感じ、考え、確かめ合う学びの実感なのかもしれません。

具体的には、8つの柱に支えられた授業や提言、3つの視点に整理された研究討議によって深められ、確かめられることと思います。

大人も
つながる
大会に！

本大会には、普段は広い北海道各地、また全国の様々な地域で子どもたちと向き合い、心を育む造形活動に勤しむ仲間や、造形教育にいろいろな立場でかかわりのあるみなさんが集まっています。本大会を子どもたちの素敵な笑顔や学びの姿見付けの場としてだけでなく、私たち大人も大会に集うみなさんと心通わせ、子どもや授業、題材や教科などへの思いを積極的に交わす場としてみましょう。

最後になりますが、これまで大会に向けてご尽力されてきたみなさんに対し、心より尊敬と感謝の気持ちを表します。今日この日の素晴らしい出会いや、これからの造形教育への元気をいただけることに感謝しながら“わたしを「つくる」”“みんなと「つながる」”素敵な帯広・十勝大会にしようではありませんか。

研究大会に向けて

6月13日(水)作品展示準備～帯広第五中学校体育館にて



版面の小径準備中



名札はそろえて



一枚一枚を丁寧に

公開授業にむけて～自画像・フラワーロード・わたしの木・心映して・みる授業



6月20日(水)下士幌小学校にて



つくるとき

つながるとき

6月22日(金)北栄小学校にて



立寄 走大六段新作組



6月26日(火) 広陽小学校にて



6月29日(金) 札内東中学校にて



7月5日(木) 北海道立帯広美術館にて(帯広第一中学校)

第3分科会

「私をつくる」

中学校分科会

◇分科会コンセプト◇

「自分とは何か」を考え、感じ取ることのできる題材を考える分科会。自分自身を描く事、自分の生活を描く事、自分の見た事を描く事など。自分の心というフィルターを通して、「どのように感じたか、どのように表現したか」について深めあう分科会です。

◇授業 題材名 『心をうつす～ランプシェードの制作～』

授業者	幕別町立札内東中学校	神下 朋実 教諭	生徒 第2学年 33名
-----	------------	----------	-------------



私は、自分が創り出す作品はもう一人の自分だといつも生徒たちに伝えています。今回の作品制作は、それぞれの『心』を映し出すことがテーマです。子ども達の何気ない生活の中に息づく、自分が好きなもの、好きな風景、心地よい場所、自分の気持ち……。すなわち『自分を創ってきたもの』をコンセプトに制作を進めていきます。光と影によって映し出される自分の思い、気持ち、心。それを展示し、鑑賞することでまた新たな自分を発見し、自分をあらためて見つめ直す時間を大切にしたいと考えています。

◇提言1 提言名 『僕の・私の太陽』（卒業制作）～想いを込めた作品づくりのために

提言者	当別町立当別中学校	佐藤 哲 教諭
-----	-----------	---------



自分自身の心の奥底にある想いを「太陽」の姿に変えて表現しようという授業です。一人一人の「想い」を引き出すために、そして、「想い」の込められた作品づくりができるために、実際の制作前にいかに子どもたちの心を振るわせ、感性を刺激するかということにポイントを置きました。時数等様々な好条件に恵まれて実践が可能となった授業でしたが、いつかまたという想いの強い授業でもあります。子どもたちの心の奥に触れ、想いを引き出す方法について、皆様からご教示いただくと幸いです。

◇提言2 題材名 『私をつくる 自画像』

提言者	旭川市立東陽中学校	中村 靖 教諭
-----	-----------	---------



私をつくる「自画像」は顔の輪郭線がキュビズム表現であってもよし、フォービズム的であっても写実的な表現であっても良い。制作を通し、様々な表現方法に生徒が気づけばよい。自画像の指導はまず鑑賞にはじまる。表現で個々の生徒の持ち味を生かし、多様な作品を評価する時に力量がとわれる。顔を描くとき輪郭を描き、目鼻立ちを描いていくことは難しい。鼻から描いていく。鼻から口までの距離は？→眼までの距離は？→鼻の長さに対して、顔の長さは？指導方法の試行錯誤は今日も続く。

第4分科会

「みんなで作る」幼稚園・小学校分科会

◇分科会コンセプト◇

「みんなで作るたのしみ、よろこび」を語り合う分科会です。

幼稚園ではお友達や先生と語り合いながらつくる楽しさを、小学校では「表現→展示→鑑賞→表現」というサイクルで子どもたちがどのように変化、成長していったかを語り合う分科会にしたいと考えています。

◇授業1 題材名 『みんなでつくろう ～ 葉っぱのお皿づくり』

授業者 学校法人みどり学園帯広第二ひまわり幼稚園 鈴木 みなみ 教諭 年長園児20名



子ども達と関わる中で一番大切にしている事は、子どもを肯定的に育てていく事です。子ども達は様々な経験をする事でたくさんのアイデアが生まれ、大人には想像の出来ないものを作り出す力があります。日常の保育ももちろんですが、製作を行う際は特に子ども達の発想を大切にしています。「これはダメ」ではなく「こうするときはいいだね」「この形素敵だね」などと肯定的な言葉を使う事で次の意欲に繋がっていきます。子ども達が出来あがった作品を見てキラキラと目を輝かせる姿を見て私も嬉しく思います。

◇授業2 題材名 『紙のフラワーロード ～特別な ONLY ONE～』

授業者 帯広市立広陽小学校 岩村 美希 教諭 児童第6学年 34名



自分や学級に合う花言葉を作品に添え、6年生は「みんなで飾る」ことに挑戦します。本題材は、身近にある素材「紙」を使い、その特性を感じながら子どもたちがイメージしやすい「花」を立体に表すというものです。色々な種類の紙を用意することが、発想を豊かにさせます。本時では、みんなの作品を配直し、一つ一つの形や大きさ、色、紙の質感などの違いによる印象の違いについて鑑賞します。素材を選んで作る楽しさと、美しい色合いで並べることの良さから、普段の生活に彩りを添えることができることに期待します。

◇提言 題材名 『光のたから箱』 提言名 『題材から生まれる関わり合い』

提言者 札幌市立白楊小学校 菊地 惟史 教諭



グループの友達と一緒に大きな段ボール箱に穴をあけ、その穴からつくり出される光の形や色・大きさを工夫して、「光の宝物」を集めていきました。箱の中と外、他のグループ同士…。一緒につくったり、刺激し合ったり。活動の中で様々なかかわりが生まれました。

「ねえ、こんなのどう？」「わあ、きれい！」「え、どれどれ？」「へえ、僕もやってみよう」「私はさらに、こんなこともしてみたよ」 本題材から見えてきた「みんなで作るたのしみ・よろこび」を、皆様と共有していければと思います。

◇つくる・つながるワールドカフェ 版画の小径◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

帯広・十勝では、長きにわたり「版画」に取り組んできました。毎年、あちらこちらの現場で講習会が行われています。そうして、ずっと伝えられてきた変わらない技術、また、進歩する技術も交えた中から生み出される版画作品を楽しむことのできる地域です。

なぜ「版画」なのでしょう。その、人を惹きつける力はなんなのでしょう。「版画の小径」と名づけたこの空間で、しばしリラックスしながらみなさんの、心とつぶやくような言葉をそのまま書き留めてみたい！という思いで企画いたしました。

今回、地元はもとより他の地域の方々のご協力も得て、この会場におよそ240点もの版画作品を飾らせていただくことができました。学年も小学生から高校生まで幅広く、題材や技法も様々なものがあります。この、素晴らしい作品たちに囲まれて、その向こう側に見える子どもたちの真剣な眼差しや想いを感じながら、版画の魅力について、思うままに語らっていただければ幸いです。



◇語る・つながるシンポジウム 「なぜ今、美術教育か」◇

本研究大会では関連事業としてワークショップを開催いたしました。学校教育で行われている造形活動・美術教育が地域の文化活動とどのようにつながっていくべきか、というのがこのことのスタートとなった視点です。

そのような場で、子どもたちが日常取り組む造形活動がどのような広まり・深まりを見せ、どのような力を育むことができたかを、ワークショップの様子を振り返りながらみなさんと共に確かめ合いたいと思います。

またこのような広まり・深まりが、子どもたちの日常の学習活動・生活にどのようにつながっていくのか、いくべきなのかをみなさんと一緒に語り合いたいと思います。

日頃、大切に思っていること、課題に思っていること、これからも大切にしていかなければならないことをそれぞれの視点から語り合い、つながりあえるシンポジウムです。





19地区サークル紹介

各地区サークルネットワーク部長 TEAM HOKKAIDO

札幌市造形教育連盟

(札幌市立幌南小学校) 山 薫

石狩造形教育連盟

(北広島市立大曲小学校) 岩崎 愛彦

空知美術教育研究会

(岩見沢市立第二小学校) 中澤 孝仁

後志教育研究会図工美術部会

(小樽市立入船小学校) 嶋影 哲弥

上川造形教育連盟

(東川町立東川中学校) 島本 匡洋

旭川市教育研究会図工・美術部

(旭川市立北星中学校) 庄子 展弘

留萌地方美術教育研究会

(羽幌町立羽幌小学校) 松岡 宏悦

渡島美術教育研究会

(七飯町立大南中学校鈴蘭谷分校) 高島 純

函館市美術教育研究会

(函館市立深堀中学校) 佐々木 壮一

檜山造形教育研究会

(今金町立種川小学校) 花岡 康成

胆振造形教育研究会

(苫小牧市立緑腰中学校) 前田 求

室蘭市造形教育研究会

(室蘭市立桜橋中学校) 佐藤 宏茂

苫小牧市造形研究会

(苫小牧市立明野小学校) 富塚 益美

帯広市教育研究会図工美術部会

(帯広市立帯広第一中学校) 村中 鉄也

十勝造形サークル

(幕別町立札内中学校) 小泉 佳一

釧路造形教育研究会

(北海道教育大学釧路附属小学校) 若林 朗子

オホーツク造形教育連盟

(網走市立潮見小学校) 塩浦 亜紀

根室造形教育連盟

(別海町立上風連小学校) 外川 篤司

日高造形教育研究会

(平取町立紫雲古津小学校) 伊藤 孝三

平成23年度 活動報告

札幌市造形教育連盟

「あったかい!」をつなげ合う造形活動

○全国図画工作・美術教育研究大会 in 北海道



Team Hokkaido



全国図画工作・美術教育
研究大会 in 北海道



20の授業公開、40の提言、そして、全国造形教育連盟と日本教育美術連盟の共同開催、実りの多い3日間になりました。たくさんの提案をさせていただき、たくさんの「人」と「人」の絆が生まれたことに感謝いたします。

平成23年度 活動報告

石狩造形教育連盟

研究主題

子どもの『見る』ところが、『つくる』ころを交える。
～ 創造行為としての鑑賞活動による学びの深まり ～



協力
石狩教育研究会
図工美術部会

石教研二次集会から

石狩市立緑苑台小学校 石狩市立樽川中学校 研究授業

- 「みる」場面を大切に授業づくり
- 子ども自身がかかわりあう中での表現と学びの深まり



石狩市立緑苑台小 1年
千葉 道子 教諭
「いろいろベッタン」

ローラーをつかった授業。友達の前につぶつかるときには「上にかいてもいい？」と聞ける。あたたかい雰囲気づくりと楽しい雰囲気をも十分に演出。



石狩市立緑苑台小 4年
大須賀 智香 教諭
「へん身パッ！」

なりたい自分の姿、顔だけ入れて突然みんなの前にも現れる。みんなは礼をあげて必ず反応。友達同士で変身し合う、ことから全校に広がる構想に。



石狩市立樽川中 1年
樋渡 真紀 教諭
「遊び心のかたち

～モダンテクニック～
四季のイメージをモダンテクニックを用いて表現。色、形など個々のイメージをもとに、モニター画面で交流。

全体会・事後研・分科会・全体交流会



全体会



公開授業事後研



分科会



全体交流会

「みんなで共有」を合い言葉に計画されました。それぞれの授業、分科会で話し合われた貴重な情報をみんなが「おみやげ」として持ち帰り、子供たちのために生かせるようにしました。会員の協力のもと達成感をもって研究会を終えることができました。



平成23年度度 活動報告

空知美術教育研究会

「子どもの作品を語る」ということ
おもう・さぐる・つなげる から



メインは毎年行われる『子どもの作品を語る会』です。昨年度は由仁町立三川小学校で開催。94名の児童と教職員・保護者も参加して造形活動を楽しみました。

空知美術教育研究会 通称：空美（くうび）

昭和39年の春、空知美術サークルで中心になって活躍していた教員有志が、既存の研究会にとられない、もっと自由な研究会を行いたいという思いから、子どもの作品を通して子どもを中心に据えた研究会を検討。その年11月に記念すべき第1回『全空知子どもの作品を語る会』を栗沢町立栗沢小学校（現在の岩見沢市立栗沢小学校）で開催する。第5回大会にて、空知管内教育実践表彰を北海道空知教育局より受けることとなり教育団体として、『空知美術教育研究会』（空美：くうび）を発足させた。子どもと実践が中心に添えられる研究会であることを象徴する空美エピソード。

※ 詳しくはWebでご覧下さい！！



48th『語る会』の全景（体育館いっぱい活動）

送風機による立体彫刻が子どもの目を引きました！



工作祭り（その1）

また会おうね、わたりどり（1・2年）

マーブリングで染上げられた紙があら不思議！渡り鳥に！羽根が奇麗に飾り付けられ、紐を付けて出来上がった渡り鳥を飛ばしている姿が印象的でした。

工作祭り（その2）

ふくらめ、学校への思い！（3・4年）

まだ幼虫だった三川くん。その三川君が皆の力で増殖して行き、最後は大きな三川君に。この三川君に送風機で風を送り込み、いよいよ体育館一杯に大きくふくれあがる造形活動。



工作祭り（その3）

どろ〜りカチカチ（5・6年）液体状になった粘土と古い布、針金などで新しい造形を模索して行きます。そして交流。



空美会員展

会員による展覧会も開催。また、裸婦デッサンも毎年欠かさない空美の大事な事業となっています！OBも参加です！



新春ゼミナール

毎年新年の実技講習。新しい題材に胸を躍らせて参加。昨年は綿棒アート。安価な綿棒を用いての新しい造形活動に参加者も無我夢中！



空美HP：<http://sorachi-art.pl.bindsite.jp/index.html>

平成23年度 活動報告

後志教育研究会図工美術部会

研究主題 日常の実践交流や実技研修を通して、図工科の大切な基本的事項の研究を深め、指導力を高める
小樽市教育研究会の取り組み（小中図工美術展）



サークル名は後志教育研究会図工美術部会となっていますが、研究主題、活動内容などは小樽市教育研究会図工部会のものとなっています。

小樽市小中図工美術展

2012年1月25日～29日
小樽市立美術館市民ギャラリー



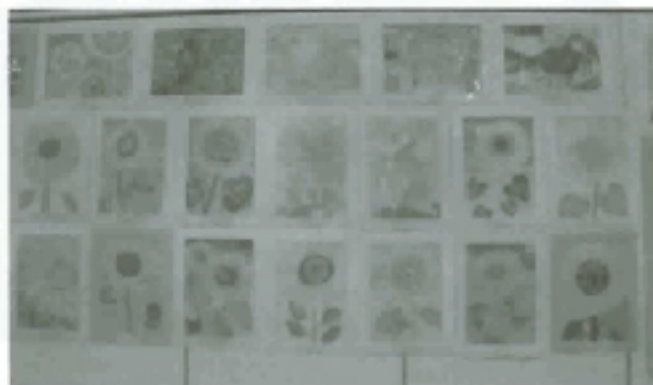
小樽市教育研究会では、例年1月、市内
全校（小学校・中学校）より作品を募り、

作品展を実施しています。毎年1000点以上の個性豊かな作品が集まります。

この作品展は、出展作品に賞などをつけるのではなく、広く小樽市民の皆様方に子どもたちの様々な表現を感じていただきたいという願いのもとに実施されています。

作品展には出品者の保護者・ご家族はもちろんのこと、多くの市民の方が足を運ばれ、子どもたちの表現の豊かさに感心されています。

今年度も、2013年1月23日～27日の
同会場で実施が予定されております。子ども
たちの思いや願いがたくさんつまんだ作品が
集まってくるのを楽しみにしています。



平成23年度 活動報告

上川造形教育研究会

表現の喜びを実感できる造形活動をめざして

11月の研究授業・造形祭り・作品を語る会



「くねくねランプ」

2011年11月8日

授業者 小川雄平

上富良野町立上富良野小学校

アルミ針金でランプシェードを作る授業の導入。児童が針金と十分に関わる中で、楽しみながら、質感や量感を感じ取ったり、様々な加工の方法を試したりして、材料のよさや特徴、造形の可能性を味わう授業を行いました。



造形祭り

2011年7月30・31日

旭川市美術館

「旭川市地域連携アートプロジェクト」の1つとして、旭川市美術館を会場に、屋台形式による造形ワークショップに出展しました。

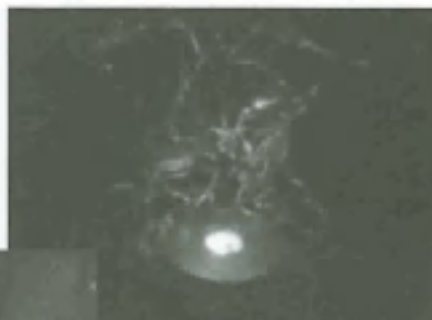


作品を語る会

2011年6月24日

東川町立東川中学校

持参作品を持ち寄り、制作のプロセス、どのような指導がなされているのか、指導者としての作品の見方や関わり方などを交流し合いました。

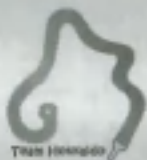


平成24年度 活動報告

旭川市教育研究会図工・美術部

「わたし」の喜び あふれる造形活動

表現の喜びを実感できる造形活動をめざして（「深める」研究と「広める」研究）

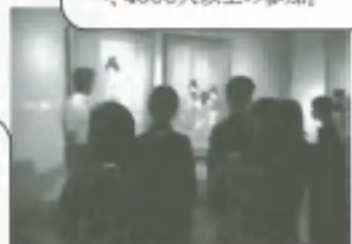


実技研修会（一般向け）

8月27日（土）に実施。木版画の実技研修。40名近くの参加。一般小学校教員にとっての需要を強く感じた。

造形まつりの実施（旭川地域連携アートプロジェクト）

旭川美術館、彫刻美術館を会場に、学芸員、大学生、教員（旭川、上川）がブースを開いて飛び込みの小学生に工作指導をする。2日間でのべ、4000人以上の参加。



鑑賞プログラム（旭川地域連携アートプロジェクト）

ウッドワン美術館展において、ギャラリートーク、アートゲーム（鑑賞ワークシート）を行う。参加生徒は4日間の日程で270名ほど。



10月研

10月25日（火）に実施。小学6年生を対象に「版を生かして～不思議な種から」という版画の授業。体育館を会場にステンボードを用いた表現に取り組む。午後には公開授業で用いた版画に教員が取り組み、新しい教材研究の方法にもなる。



中原伸二郎賞ワークショップ（旭川地域連携アートプロジェクト）

10月1日実施。小泉 俊己さんとのワークショップ。シリコンチューブに水を流す作品。各学校で制作した後、教育大学の体育館に集まって一つにつなげる。



作品を語る会

11月5日（土）に実施。図工・美術部員の中学校4名、小学校2名の先生が集まって、作品について語りあう。



出前授業（美術館との連携）

9月～12月まで。彫刻美術館の彫刻移動展示を使っ、体感型、対話型の鑑賞プログラム。



児童生徒作品展

指導要領の改訂や旭川の新研究もあり、審査の規準を見直して1月13日に審査する。題名やコメントを参考にしながら行った。展示は2月16日（木）から19日（日）まで。



2月研

アートカードによる鑑賞の授業（中1）をおこなった。ゲームの要素と鑑賞の深まりをどう兼ね合わせるかなどの課題が生まれた。

平成23年度 活動報告

留萌地方美術教育研究会

～ 喜びひろがる 心つながる 造形活動 ～

○造形教育研修会 ○作品を語る会



造形教育研修会

2011年9月12日

遠別町立遠別小学校

増毛町立別荘小学校の滝本教頭先生と天塩町立天塩中学校教諭工藤臣教諭から実技講習をしていただきました。

「絵画の指導の実践」について研修会を行いました。滝本教頭先生からは、教師の的確な指示と言葉かけの大切さについて、中学校の工藤先生からは、自画像を描くときのポイント、特に陰影の付け方について、実技を織り交ぜながらお話をさせていただきました。参加された先生方も熱心に取り組まれました。



作品を語る会

2011年9月12日

遠別町立遠別小学校

研修会に参加された先生方に、子どもたちの作品を持ち寄っていただき、子どもたちの作品について語り合う会を毎年行っています。

作品作りについての悩みを共有したり、先輩からのアドバイスをもらえるチャンスです。



毎年、先生方の熱いトークで時間が押し気味になります。今年は開館校の子どもたちも作品を見に来ていました。他校のすばらしい作品を見ることはすばらしいことです！

渡島美術教育研究会

心うるおす造形活動をもとめて

○研究授業 ○児童生徒美術作品展 ○実技講習会



「自分だけの美術展を企画しよう」

授業者 北斗市立浜分中学校 木村麻岐
「アートカード」を使ってオリジナリティーあふれる作品展を考えるという授業で、生徒のみなさんは「テーマ」「コンセプト」など自分の考えた「企画」を意欲的に発表していました。



渡島児童生徒美術作品展

管内の児童・生徒の作品を展示交流することで、子どもたちの意欲高揚と、指導者の指導力向上を図っています。今年度の出品点数は、幼稚園・小学校・中学校合わせて、平面作品が653点、立体作品が56点、合計709点となりました。

実技講習会

松ぼっくりや木の実、枝、葉などの大量の素材を元に、ホットボンドで思い思いに組み合わせ接着し短時間で動物やおしゃれな置物に大変身！ラメで装飾し魅力的な作品に仕上がりました。



平成23年度 活動報告

函館市美術教育研究会



「感性と知性の出会い」～こころをうるおす造形活動～

8月 10月 函館美術館にて

『田辺三重松展』『陶酔のパリモンマルトル』鑑賞会

毎年、函館美術館の協力により、学芸員さんから特設展示内容についての講演を聞き、見学する研究会を行っています。美術会員以外の先生も出席し、大変好評でした。

平成23年10月13日(水)実施

平成23年8月25日(水)実施



〈函館美術館開館25周年記念〉
没後40年
田辺三重松展
(昭和神山)1976
北海道立近代美術館
会期/7月16日(土)
～9月19日(月)

〈函館美術館開館25周年記念〉
陶酔のパリモンマルトル
1880～1910
会期/10月8日(土)
～12月7日(水)



副館長の柴先生の講義



講義の後の鑑賞会



指導事項のポイントを教えていただきました



小・中合同で指導案づくりしてみました

11月 講師：渡邊節子 西岡 裕 氏

新学習指導要領にむけた学習会

講師の先生から新指導要領実施にむけての注意点や配慮事項をお話していただきました。また、実際に自分たちで授業の指導案を作り交流をしました。

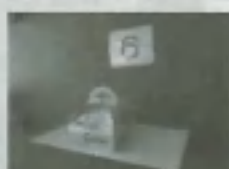
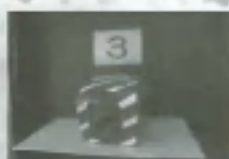


グループで話し合った指導案を発表！！

10月 授業者 藤本大介 函館市立赤川中学校

『パッケージデザイン』公開授業

研究会員が集まり授業見学をしました。準備から丁寧に指導された授業でした。授業後も活発な意見交流がされました。



出来上がった作品！！
ラッピングも状況があり
仕上がりもバッチリ！！



1人ずつモニターを見ながらグループごとに発表



11月 第二パートにて 2月 函館市芸術ホールにて 函館市小中学生写生展および函館市児童生徒美術展

今年も1000人を越える入場者がありました。



平成23年度 活動報告
檜山造形教育研究会



○児童生徒美術展 ○図工サークル活動 ○授業風景

檜山管内
 児童生徒美術展
 2011年12月

今回で第41回目
 となる歴史ある美
 術展です。
 (会場：せたな町)



せたな町・今金町
 2町合同美術図工サークル
 実技講習会 2011年11月

2町の美術図工サークルの
 先生方が陶芸講座に参加
 し、技術を学びました。



江差町立江差北中学校
 3年生の授業風景
 2011年6月

飛び出す絵本作りの構想
 を練っているところです。

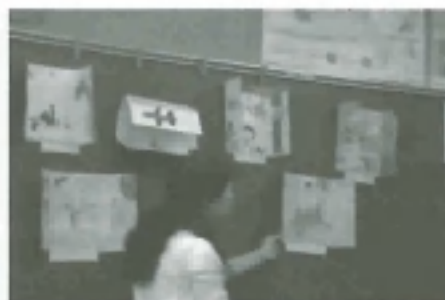


平成23年度 活動報告

苫小牧市教育研究会 造形部会

生き生きと表現し、創造する力を育む授業を目指して

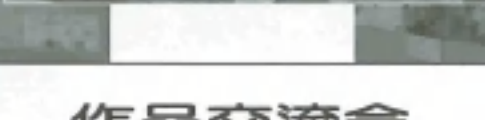
○実技講習会 ○作品交流会



つるす飾りの 作品交流

2012年5月

各学校の作品を持ち寄り、作り方や授業の様子を交流しました。



作品交流会

年に数回、各学校の実践を交流し合います。同じ教材でも取り組み方によって違った作品が出来上がり、楽しく取り組むアイデアをもらうことができます。また、小学校・中学校色々な学年の取組を知ることができ勉強になります。

実技講習会 2011年11月

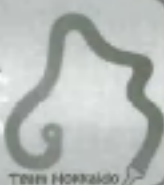
北海道教育大学札幌校美術教育学部の佐藤昌彦教授をお招きし、工作の実技講習を行いました。「新種のへびがでてきたよ」という袋を開けると驚くような音をたてる沖縄玩具をもとにした作品です。



平成23年度 活動報告

日高造形教育研究会

「開かれた・内容の深い・楽しい」研究会をめざして



「管内公開授業研究会」

11/28 新ひだか町立静内第三中学校・牧野裕子教諭が、デザイン「もらって嬉しいポップアップカードを作ろう」の公開授業を、IAで実施しました。



全国図画工作・美術教育

7/26～27 研究大会 in 北海道

日高造形研究会としては、初めての全道・全国大会への参加でした。役員3名が、「あったかい」が溢れた研究大会に参加しました。



8/11(木)「表現」実技講習会を開催しました。

平成23年度の実技講習会は、浦河町立萩節中学校美術室を会場に開催しました。神成 浩会長が講師を務め、水彩絵の具を使った表現技法と指導法の講習を行いました。

会員以外の先生方を含め、参加者は10名でした。残念ながら写真記録は今回用意できませんでしたが、参加者は、たいへん熱心に講習臨んでいました。その後の実践交流も和気藹々なものでした。



平成24年5/26(土) 総会研修会

平成23年度 活動報告

釧路造形教育研究会

「つくる喜び」と「感動する心」をつなげる造形教育

○実技研修会 ○研究授業 ○釧路造形教育展



Kushiro Hokkaido



実技研修会 (水墨画に挑戦)

2012年1月21日 於 北朝鮮大学附属小学校

釧路管内の小中学校の先生を対象に実技研修会を行いました。墨を使って描く活動のよさや特徴から、図工科・美術科・社会科の学習に生かせる授業のポイントについて参加者の先生方と共に考えていく研修となりました。



釧路造形教育展

2011年11月16日~22日

於 釧路芸術館

釧路市・釧路管内の各小中学校の児童生徒の立体作品が展示されました。作品に使われている材料なども年々工夫が凝らされたものになっており、子どもだけでなく教師も、展覧会を見ることを楽しみながら造形のヒントをたくさん見つけることができる機会となりました。



コロコロ ムラユラ 2012年2月1日 授業者 若林 純子 於 北朝鮮教育大学附属小学校

コロコロ ムラユラと転がるおもちゃの動きを楽しんだり、繰り返し試したりしながら、色や材料を付け足してもっと楽しいおもちゃにするための工夫をしていきました。



掛軸の鑑賞 2012年3月9日

授業者 夏科 結希 於 釧路町立遠矢中学校

釧路市美術館所蔵の掛け軸(久本春雄「初雪」「桃花小満図」)の鑑賞を行いました。授業では、矢筈(やはす)を使って掛け軸を掛ける作法から見せたり、美術室に全面書を敷いたりするなど、鑑賞の環境を整えました。

平成23年度 活動報告

オホーツク造形教育連盟

個・創・喜・感

一人ひとりが創造的な喜びを実感する



実技研修会(9月)

留辺蘂小学校を会場に、小学校の学習教材セットを使った作品作りを行いました。参加者が自由に教材セットを選ぶことができ、紙工作や木工など思い思いの題材に取り組んでいました。



実技研修会(12月)

例年、研究授業の日程と合わせて実技研修会を行っています。今回は最初から紙に描かれているわずかなライン(形)を手がかりに、イメージを膨らませて鉛筆画を描きました。

また、子どもたちの作品の展示方法の工夫や、授業の導入の様々な方法、中学校美術の〔共通事項〕の扱いについての話題も取り上げられ、充実した研修になりました。



研究授業(12月)

「友だちを描く～鑑賞の方法」
(北見市立東陵中学校 2年生)

レンブラントの作品をもとに、作者の想いを主体的に捉えることを重点として鑑賞しました。描かれた人物の表情や用いられている技法に注目し、意見が交流されていました。

さらに、これまでに8時間かけて描いた友だちの肖像画をグループごとに鑑賞して、自分たちが作品に込めた想いを再確認していました。



平成23年度 活動報告

根室造形教育連盟

実技研修・市町教育研究会との交流

○根室造形教育連盟の活動 ○小中交流 ○実践



根室造形教育連盟の活動

美術教師が少ないことと各学校間の距離が遠いためあまり多くはできません。
何とかしなければと考えております。



小中の交流

美術専科の先生がいない学校（多いです。）に、小学校で美術の免許を持っている先生を呼んで、小中の交流をやっている学校もあります。



各市町での実践

各市町教育研究会の園工・美術サークルとの交流、活動を行っています。講師に来ていただいて行うこともあります。（写真は、別海町の様子です。）



平成23年度 活動報告

十勝造形サークル

豊かな表現力の育成

十勝子ども大会の活動を通して



Ten Hokkaido



審査風景！

審査はサークル員全員(約20人)で1日かかりで審査します。展示もその日のうちに行います。展示される作品は入選作品のみです。



十勝子ども大会とは！

十勝18町村の小中学校より応募された作品を、学年別・部門別に審査し、約4日間展示しています。部門は、絵画、版画、デザイン、彫刻・工作・工芸となっています。

展示会場！

幕別町の百年記念ホールで行っていますが、最後の2日間では、理科、社会、技術家庭、書写の展示や、ホールでは合唱の発表もあって大混雑です。



平成23年度 活動報告

帯広市教育研究会 図工美術部会

豊かな心をはぐくむ造形教育



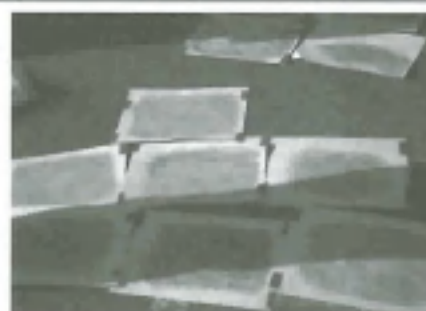
帯広250の秋の陣 帯広の秋 - 帯広イマービルにて、帯広市立八中学校 美術部会



力作ぞろいの「小中学校造形展」11月



現代美術家、岡部先生と「実技研修会」12月



笑ってます(笑)「研究大会打合せ」12月



「作品交流会」6・10・2月と「部会」



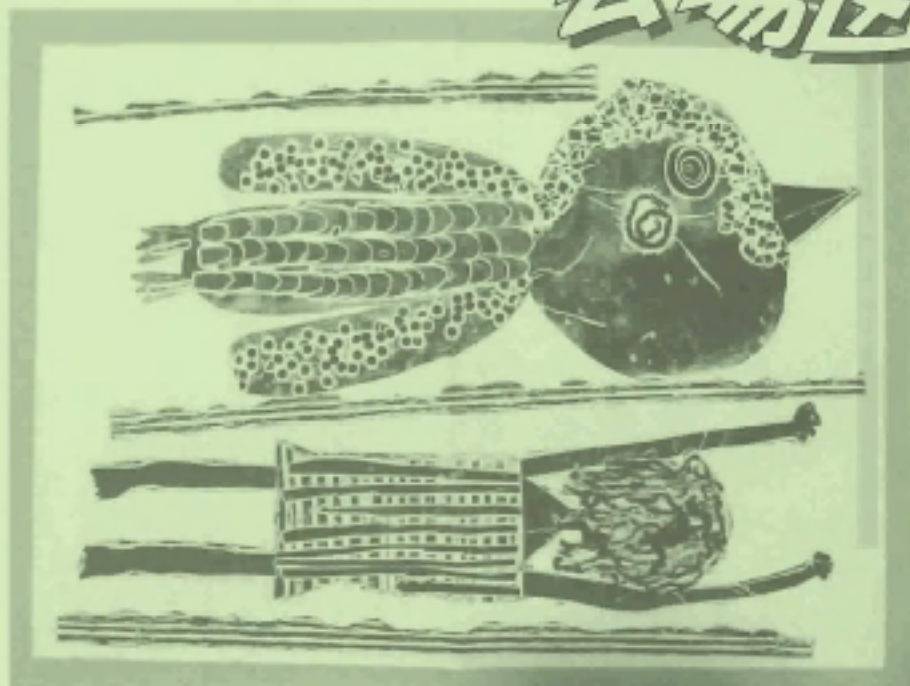
研究のあゆみ



規約・名簿



会場図



全道造形教育研究大会のあゆみ

年	回	開催地	テ ー マ	委 員 長	備 考
1949年			(札幌美術連盟組織 全道図画工作教育講習会)		
1950年	第1回		情操教育の一環としての本道図画工作教育の進展を図るため		
1951年		札幌		第1代 野村 英夫	北海道美術教育会と改称 第1回全道図画工作教育講習会
1952年	第2回	札幌	図画工作教育の新思潮である創造主義美術教育の諸問題について	〃	北海道図画工作連盟 創立
1953年	第3回	旭川	美術教育の指導とは何か	〃	
1954年	第4回	函館	図画工作教育実践上の諸問題について	〃	
1955年	第5回	釧路	図画工作教育における学習指導上の問題の解明	〃	
1956年	第6回	札幌	造形教育において、つくり出す力を養うにはどうしたらよいか	〃	
1957年	第7回	室蘭	のぞましい造形教育における具体的諸問題について	〃	
1958年	第8回	小樽	図画工作学習によって児童生徒の人間性がどのように培われるか	〃	
1959年	第9回	帯広	新段階における造形教育のあり方	〃	北海道造形教育連盟 と改称
1960年	第10回	網走	本道における造形教育の実践を通して今後のあり方を見出そう	〃	
1961年	第11回	滝川	子どもたちの芸術性を育てるために私たちは何を与え何をすべきか	〃	
1962年	第12回	名寄	子どもが生活を見つめて造形的に高まっていくために私たちはどうしたらよいか	〃	
1963年	第13回	余市	子どもが生活を見つめて造形的に高まっていくために私たちはどうしたらよいか	〃	
1964年	第14回	札幌	子どもの創造能力とは何か	第2代 新妻 清	
1965年	第15回	稚内	子どもの創造能力とは何か	〃	
1966年	第16回	室蘭	子どもの造形能力とは何か	第3代 赤石 武士	
1967年	第17回	函館	指導の構築を具体化する	〃	
1968年	第18回	苫小牧	指導の構築を具体化する	〃	
1969年	第19回	札幌	造形能力は、どのような指導によって育てられるか	第4代 和田 芳郎	
1970年	第20回	旭川	ゆたかに生きる子どもの造形能力をどう育てるか	〃	
1971年	第21回	札幌	造形能力は、どのような指導によって育てられるか	第5代 伊東 将夫	
1972年	第22回	帯広	未来に生きる子どもの造形教育 (生活に根ざした造形教育をどう高めるか)	第6代 高橋 栄吉	
1973年	第23回	室蘭	未来に生きる子どもの造形教育 (たしかな表現力をどのように育てるか)	〃	
1974年	第24回	美幌	未来に生きる子どもの造形教育 (ひとりひとりの子どもの表現力をどう高めるか)	〃	第1回教育美術展
1975年	第25回	江別	未来に生きる子どもたちの造形教育 (自ら創り出す力をどう育てるか)	〃	
1976年	第26回	岩見沢	未来に生きる子どもの造形教育 (すべての子どもに造形のよろこびを)	〃	第1回立体造形展
1977年	第27回	札幌	みずみずしい中味でしなやかな子どもを育てる造形実践	〃	第30回全国造形教育 研究大会をかねる
1978年	第28回	函館	みずみずしい中味でしなやかな子どもを育てる造形実践 (すべての子どもが生き生きとたくむ学習)	第7代 辻 悦平	
1979年	第29回	旭川	生き生きとしたゆとりのある子どもを育てる図工美術教育のあり方	〃	

年	回	開催地	テ ー マ	委 員 長 会 長	備 考
1980年	第30回	苫小牧	ひろがりと深まりの造形教育を求めて	第7代 辻 悦平	
1981年	第31回	釧 路	創りだす心をよびおこす造形教育	"	
1982年	第32回	室 蘭	見る、知る、感ずる、そして創りあげる喜びを	第8代 遠藤 久男	
1983年	第33回	留 萌	生活とふれ合い、創る心のひろがりを求める造形活動	"	
1984年	第34回	札 幌	知恵とエネルギーをわきたたせる造形活動 (わきたつ発想・たしかな表現・つくりだす喜び)	第9代 種市誠次郎	
1985年	第35回	函 館	知恵とエネルギーをわきたたせる造形活動 (心をこめてつくりだす子どもを育てる)	"	
1986年	第36回	旭 川	子どもの心をゆり動かす造形教育 (つくる心のひろがり求めて)	第10代 森川 照夫	第39回全国造形教育 研究大会をかねる
1987年	第37回	紋 別	子どもの心をゆり動かす造形教育 (表現のよるこびにひたる子どもを育てる)	第11代 松島 輝男	
1988年	第38回	滝 川	子どもの心をゆり動かす造形教育 (ひたむきに創る心を育てる)	"	
1989年	第39回	帯 広	子どもの個性的表現を授ける造形教育の充実 (君はいま創造のとりこに)	第12代 金井 秀男	
1990年	第40回	苫小牧	広がり、深まり、そして感動を！	"	
1991年	第41回	札 幌	子どもの個性的表現を授ける造形教育 (子どものつくる喜びをひらく)	第13代 佐々木理温	
1992年	第42回	函 館	子どもの個性的表現を授ける造形教育の充実 (感動、そして創造する喜びを)	"	
1993年	第43回	旭 川	思いをあたため心をはずませる創る喜びを	第14代 鹿嶋 健	
1994年	第44回	釧 路	心ときめく、創造の喜びを求めて	"	
1995年	第45回	千 歳	豊かな心と確かな力をはぐむ造形学習を	第15代 船着 昭弘	
1996年	第46回	札 幌	～造形=愛感美遊創in札幌～ 自らの心を拓く造形学習の在り方	第16代 白井 園毅	
1997年	第47回	根 室	感性から発し躍動する力を育む造形学習を！	第17代 吉田 優雄	
1998年	第48回	留 萌	楽しさにひたり伸びやかに表す造形活動と共感し寄り添 う指導	第18代 芝木 秀昭	
1999年	第49回	オホー ツク	オホーツク発 思・創・喜・感 ～一人ひとりが創造的な喜びを実感するために～	"	
2000年	第50回	函 館	心の風景(ヒジョン)の発信を！ ～豊かな自分づくりを生かす想創活動～	"	
2001年	第51回	札 幌	風よ、大地よ、夢よ、北からはじまる造形の未来 ～(いま)(ここ)(わたし)を基軸にして造形の未来をつくる	"	第54回全国造形教育 研究大会をかねる
2002年	第52回	帯 広	広い大地に紡ぐ夢 豊かな感性をはぐむ造形教育	第19代 藤井 正治	
2003年	第53回	空 知	つくる喜びを実感できる造形教育	"	
2004年	第54回	旭 川	豊かに感じ、おもいをふくらませあわす喜びを 生の造形教育～身体で感じ、感性を磨くための出会いを求めて～	第20代 富田 泰	
2005年	第55回	函 館	めざめる感性(こころ)きらめく個性(かたち) 地域空間がいざなう造形活動のひろがり	第21代 今 裕子	
2006年	第56回	札 幌	楽しさあふれ、確かな表現を実感する造形教育	"	
2007年	第57回	釧 路	「できた!」「いいね!」の喜びが息づく時間を求めて ～つくる喜び、感動する心をつなげていく造形教育～	"	
2008年	第58回	いしかり 北広島	豊かな心と確かな力を育む造形教育を！	第22代 菅原 清貴	
2009年	第59回	上川・釧 路	身体で感じ・心はずませ・創造する喜びを ～「いま・ここで」「つなげる」造形教育を求めて～	"	規約改正により委 員長を会長に改称
2010年	第60回	函 館	創造!ときめき!実感! ～感性と知性の出会い心うるおす造形活動～	"	
2011年	第61回	札 幌	“わたし”を創る ～自立と共生の造形教育をめざして～	"	第64回全国造形教育 研究大会をかねる
2012年	第62回	帯 広	つくるとき・つながるとき ～豊かな心をはぐむ造形教育	第23代 福實 順	

北海道造形教育連盟規約

- 1. 名称と目的**
本連盟は、北海道造形教育連盟といい、北海道の造形教育の振興を図るをもって目的とする
- 2. 事業**
本連盟は、目的を達成するため次の事業を行う
①研究会・講習会・展覧会等の開催及び後援
②造形教育に関する教科書・教材・教具等の研究
③会報の発行
④他の造形教育団体との連絡提携
⑤その他、本連盟の目的達成に必要と認められる事項
- 3. 会員**
会 員 本道幼・小・中・高・その他これに準ずる学校の教職員
賛助会員 本連盟の目的に賛同するもの
- 4. 組織**
地区サークル 本道各地にサークルを置き、会員は原則としてこれに所属する
本 部 本連盟の本部は、札幌に置く
- 5. 構成及び任務**
①役員
会 長 1 名 本連盟を代表する
副 会 長 若干名 会長を補佐する
会 計 監 査 2 名 会計の監査をする
②委員
地区委員長 地区1名 地区サークルを代表する
地区委員 地区1名 地区サークルの連絡調整にあたる
(地区委員は、地区委員長を兼務してもかまわない)
常任委員 若干名 会長が委嘱し、本連盟の運営に当たる
顧 問 連盟の重要な問題につき意見を述べる
③部 長 各部推進の要として常任委員より会長が委嘱し、会務の分掌及び執行にあたる
- 6. 選任**
会長、副会長、会計監査は委員総会で選出する
地区委員長及び地区委員は、地区サークルで選出する
常任委員は会長の委嘱による
顧問は委員総会において委嘱する
- 7. 任期**
役員及び委員の任期は1ヵ年とする、但し再任を妨げない
- 8. 会議**
総 会 必要に応じ開催し、連盟事業につき協議する
委員総会 役員、委員をもって構成し毎年開催する
役員選出、予算、決算及び事業の年度計画等につき審議する
常任委員会 役員及び常任委員をもって構成し、連盟の事業を執行する
役員会 会長、副会長、事務局長、会計により構成し、必要に応じ会の運営について協議する
部長会 本部役員、各部部长により構成し、必要に応じ各部事業等についての連絡調整を行う
- 9. 会計**
本連盟の会計は、会費・事業収入及び寄付金により執行する
会 費 会員は、一人 年額2,000円を納入するものとする
地区サークルは、年額10,000円を納入するものとする
- 10. 事務局**
事務局は事務局長在勤の学校に置く
事務局長は常任委員中より会長が委嘱する
事務局には必要に応じて各部を設け、業務を分担する
事務局に事務局次長、会計担当を置く
- 11. 年 度**
本連盟の事業並びに会計年度は、5月に始まり翌年4月に終わる
- 12. 規約の改廃**
規約の改廃に当たっては特別委員会（規約改正委員会）を設け、規約改正案を総会に提出する
本規約の改廃は委員総会の決議による

(平成6年4月29日改訂)
(平成19年4月28日改訂)
(平成21年4月総会にて改訂)

北海道造形教育連盟役員名簿

会 副	会	長	稲 實	順 茂	札幌市立旭小学校長
	〃		島 田		石狩市立緑苑台小学校長
	〃		渡 辺	盛 二	旭川市立近文第一小学校長
	〃		中 村	吉 秀	函館市立桐花中学校長
	〃		奥 田	泰 朗	弟子屈町立昭栄小学校長
監		査	後 藤	和 司	札幌市立平岸中学校長
	〃		辻	敦 郎	帯広市立帯広第五中学校長
	〃		山 口	浩 浩	千歳市立泉沢小学校頭
事 務 局 長			益 村	豊 豊	札幌市立資生館小学校長
事 務 局 次 長			川 島	正 夫	札幌市立手稲北小学校
	〃		東	尚 典	札幌市立平岡中央小学校
	〃		福 島	由紀子	札幌市立円山小学校
	〃		湯 淺	大 吾	札幌市立拓北小学校
	〃		館 内	徹 哲	札幌市立あやめ野中学校
会 計 次 長			三 井	哲 子	札幌市立平岡中央小学校長
規 約 改 定 審 議 委 員 長			高 向	修 子	札幌市藤女子中・高等学校
庶 務 部 長			櫻 田	豊 子	札幌市立手稲宮丘小学校長
庶 務 副 部 長			吉 伊	宏 子	札幌市立幌西小学校
	〃		石 垣	あけみ	札幌市立発寒東小学校
庶 務 部 顧 問 長			藪 下	栄 一	札幌市立藤野南小学校
広 報 部 顧 問 長			箭 内	浩 之 悟	札幌市立みどり小学校
広 報 副 部 長			櫻 田	悟 裕	札幌市立平和小学校
	〃		小 林	充 裕	札幌市立東札幌小学校
広 報 部 顧 問 長			本 多	隼 人	札幌市立北野平小学校
事 業 活 動 部 長			松 本	和 彦	札幌市立発寒小学校
事 業 活 動 副 部 長			八 田	博 之 彦	札幌市立中央小学校
	〃		池 田	武 彦	札幌市立本郷小学校
北海道教育美術展担当			濱 口	裕 子	札幌市立緑丘小学校
	〃		中 村	麻 紀	札幌市立厚別西小学校
	〃		岩 井	久 根	札幌市立太平小学校
造 形 教 室 担 当			小 川	健 衣	札幌市立福井野小学校
	〃		高 松	摩 衣	札幌市立札幌ひまわり幼稚園
	〃		二ツ山	かおる	札幌市立上野幌東小学校
事 業 研 修 部 長			柿 本	美奈子	札幌市立伏見小学校
事 業 研 修 副 部 長			石 川	早 苗	札幌市立八軒東中学校
	〃		小 野	博 史	札幌市立中の島小学校
研 究 部 長			中 川	治 一	札幌市立伏見小学校
研 究 副 部 長			堀 口	基 一	札幌市立緑丘小学校
	〃		森 實	祐 里	札幌市立星置東小学校
研 究 部 顧 問 長			水 野	一 英	札幌市立官の森中学校
ネ ッ ト ワ ー ク 部 長			向 井	正 樹	札幌市立真駒内中学校
ネ ッ ト ワ ー ク 副 部 長			小 林	知 広	札幌市立幌西小学校
	〃		山	薫 薫	札幌市立幌南小学校
	〃		岩 崎	重 明	札幌市立真駒内桜山小学校
	〃		岩 崎	愛 彦	千歳市立千歳小学校
	〃		中 澤	孝 仁	岩見沢市立第二小学校
	〃		竹 生	元 元	余市町立大川小学校

ネットワーク副部長
 " "
 " "
 " "
 " "
 " "
 " "
 " "
 " "
 " "
 " "
 札幌市造形教育連盟 (会長)
 " (委員・事務局長)
 石狩造形教育連盟 (委員長)
 " (委員・事務局長)
 空知美術教育研究会 (会長)
 " (委員・事務局長)
 後志教育研究会工芸美術部 (委員長)
 上川造形教育連盟 (会長)
 " (委員・事務局長)
 旭川教育研究会工芸美術部 (会長)
 " (委員・部長)
 留萌地方美術教育研究会 (副会長)
 " (委員・事務局長)
 渡島美術教育研究会 (会長)
 " (委員・幹事長)
 函館市美術教育研究会 (会長)
 " (委員)
 檜山造形教育研究会 (会長)
 " (委員・事務局長)
 胆振造形教育研究会 (会長)
 " (委員・事務局長)
 苫小牧市教育研究会造形教育 (部会長)
 " (委員・幹事長)
 室蘭市造形教育研究会 (委員長)
 日高造形教育研究会 (会長)
 " (委員・事務局長)
 十勝造形サークル (委員長)
 " (委員)
 帯広市教育研究会工芸美術部 (委員長)
 " (委員)
 釧路造形教育研究会 (委員長)
 " (委員・事務局長)
 オホーツク造形教育連盟 (委員長)
 " (委員・事務局長)
 根室造形教育連盟 (委員長)
 " (委員・事務局長)
 函 問
 "

中島圭介
 庄子展弘
 松岡宏悦
 後藤征秀
 佐々木壮一
 花岡泰靖
 玉田博
 大野達也
 宮下肇彰
 村中鉄也
 小泉佳一
 若林朗子
 塩浦亜紀
 外川篤司
 土井善範
 松原和彦
 島田茂
 山口浩
 白井万寿子
 館山唯郎
 嶋影哲弥
 佐藤之憲
 鳥本匡洋
 渡辺盛二
 森洋
 野島操
 滝本都子
 村園壽英
 後藤征秀
 中村吉秀
 木村伸仁
 茶碗谷稔
 花岡康靖
 佐竹秀行
 前田求
 石井浩昭
 富塚益美
 大野達也
 神成浩
 伊藤孝三
 石割章浩
 小泉佳一
 辻敦郎
 根岸邦昌
 奥田泰朗
 杉山浩彰
 光成英二
 里見貴史
 長谷川恵美子
 外川篤司
 秋山修世
 阿部賢一

旭川市立東光中学校
 旭川市立北星中学校
 羽幌町立羽幌小学校
 北斗市立上磯中学校
 函館市立金堀小学校
 江差町立江差北中学校
 むかわ町立鶴川中央小学校
 登別市立幌別西小学校
 苫小牧市立糸井小学校
 帯広市立帯広第一中学校
 幕別町立礼内中学校
 北海道教育大学附属釧路小学校
 網走市立潮見小学校
 別海町立上風連小学校
 札幌市立光陽小学校長
 札幌市立北小学校長
 石狩市立緑苑台小学校長
 千歳市立泉沢小学校長
 美瑛市立茶志内小学校長
 滝川市立東小学校
 小樽市立入船小学校
 中富良野町立南中小学校長
 東川町立東川中学校
 旭川市立近文第一小学校長
 旭川市立啓北中学校
 初山別村立豊碑小学校長
 増毛町立別刺小学校長
 北斗市立谷川小学校長
 北斗市立上磯中学校
 函館市立亀尾小・中学校長
 函館市立銭亀沢中学校
 江差町立江差北小学校長
 江差町立江差北中学校長
 むかわ町立鶴川中学校長
 苫小牧市立緑陵中学校
 苫小牧市立大成小学校
 苫小牧市立明野小学校
 登別市立幌別西小学校
 浦河町立萩伏中学校長
 平取町立紫雲古津小学校長
 本別町立仙美里中学校長
 幕別町立礼内中学校
 帯広市立第五中学校長
 帯広市立西陵中学校
 弟子屈町立昭栄小学校長
 釧路市立美原中学校
 北見市立端野小学校長
 北見市立留辺蘂小学校長
 根室市立共和小学校長
 別海町立上風連小学校
 函館市
 北見市

順	問		
〃	石	久	函館市
〃	石	深	登別市
〃	伊	恵	札幌市
〃	伊	明	函館市
〃	伊	彬	札幌市
〃	稲	男	釧路市
〃	繪	子	函館市
〃	奥	男	札幌市
〃	鹿	健	札幌市
〃	金	秀	札幌市
〃	金	彊	函館市
〃	桑	博	江別市
〃	今	子	札幌市
〃	近	貢	函館市
〃	齊	博	帯広市
〃	佐	五郎	札幌市
〃	佐	正	美瑛市
〃	佐	靖	札幌市
〃	重	恵	旭川市
〃	庄	一	札幌市
〃	芝	昭	札幌市
〃	白	園	江別市
〃	菅	清	札幌市
〃	角	旭	札幌市
〃	力	治	恵庭市
〃	山	誠	七飯町
〃	関	一	札幌市
〃	武	誠	札幌市
〃	多	次郎	札幌市
〃	種	憲	札幌市
〃	寺	文	札幌市
〃	寺	吉	芽室町
〃	出	保	留萌市
〃	伝	一	江別市
〃	土	典	石狩市
〃	富	司	札幌市
〃	富	泰	札幌市
〃	墓	泰	札幌市
〃	早	行	滝川市
〃	藤	治	札幌市
〃	船	弘	札幌市
〃	宝	己	釧路市
〃	松	男	札幌市
〃	三	勝	函館市
〃	三	司	札幌市
〃	宮	一	札幌市
〃	宗	彦	南幌町
〃	村	樫	札幌市
〃	森	夫	札幌市
〃	山	伸	別海町
〃	山	也	北見市
〃	吉	雄	札幌市
〃	米	夫	札幌市
〃	若	隆	函館市
〃	若	邦	函館市

北海道造形教育連盟

地区サークル役員名簿

札幌市造形教育連盟

役名	氏名	勤務先
会長	土井 善範	札幌市立光陽小学校 校長
副会長	櫻田 豊	札幌市立手稲宮丘小学校 校長
副会長	池田 悦子	札幌市立稲積小学校 校長
副会長	益村 豊	札幌市立資生館小学校 校長
副会長	加藤 正幸	札幌市立太平南小学校 校長
副会長	伊藤 正敏	札幌市立開成小学校 校長
副会長	後藤 和司	札幌市立平岸中学校 校長
副会長	塚野 昭臣	札幌市立内陸中学校 校長
副会長	向 敏光	札幌市立元町中学校 校長
副会長	阿部 宏行	北海道教育大学岩見沢校 准教授
事務局 長	松原 和彦	札幌市立北小学校 校長
事務局 次長	安木 尚博	札幌市立東苗穂小学校 教頭
事務局 次長	岡澤 邦彦	札幌市立西岡中学校 校長
会計部 長	高向 修子	藤女子中・高等学校
研究部 長	森貫 祐里	札幌市立星園東小学校
事業部 長	池田 武彦	札幌市立本郷小学校
庶務部 長	石垣 あけみ	札幌市立丹毒東小学校
広報部 長	小林 充裕	札幌市立東札幌小学校
ネットワーク部長	山 薫	札幌市立鉄南小学校
事務局	札幌市立北小学校(長) 松原 和彦 〒006-0852 札幌市東区北33条東4丁目 TEL011-731-8381	

空知美術教育研究会

役名	氏名	勤務先
顧問	佐藤 正幸	空美OB
顧問	枝広 健二	空美OB
会長	白井 万壽子	美瑛市立茶志内小学校 校長
副会長	佐藤 祈	由仁町立三川小学校 教頭
副会長	鎌田 俊博	妹背牛町立妹背牛中学校 教頭
事務局 長	館山 唯郎	滝川市立東小学校
事務局 次長	松井 ゆおか	芦別市立芦別中学校
会計	中澤 孝仁	岩見沢市立第二小学校
総務部 長	橋本 幸枝	夕張市立夕張中学校
研究部 長	結 櫻 智恵美	赤平市立豊里小学校
事業部 長	岩井 敦子	長沼町立中央長沼中学校
広報部 長	伊藤 記子	美瑛市立東中学校
監査	三森 彩美	芦別市立開成中学校
監査	伊藤 晃	南幌町立みどり野小学校
監査	岩田 智弘	岩見沢市立豊小学校
ネットワーク担当	中澤 孝仁	岩見沢市立第二小学校
地区委員	館山 唯郎	滝川市立東小学校
事務局	滝川市立東小学校 館山 唯郎 〒073-0014 滝川市文京町2丁目1-1 TEL0125-23-1591	

石狩造形教育連盟

役名	氏名	勤務先
委員長	島田 茂	石狩市緑苑台小学校 校長
副委員長	中野 悟	江別市第三小学校 教頭
副委員長	賀島 裕二	当別町立西当別小学校 教頭
事務局 長	山口 浩	千歳市泉浜小学校 教頭
事務局 次長	岩崎 愛彦	北広島市立大曲小学校 ネットワーク担当
研究部 長	山崎 正明	千歳市立北斗中学校
副部 長	佐伯 晶宣	恵庭市立柗小学校
組織部 長	井上 哲鏡	江別市立江別第二中学校
副部 長	野口 裕司	恵庭市立恵み野中学校
事業部 長	西村 司	恵庭市恵庭中学校
広報部 長	川名 義美	当別町立当別中学校
監査	山田 浩人	千歳市立千歳第二小学校 校長
監査	池田 元治	江別市立上江別小学校 教頭
顧問	関 建治	元校長
顧問	桑田 正博	元校長
顧問	安藤 信行	元校長
顧問	基田 充泰	元校長
顧問	住友 俊郎	元校長
顧問	飯住 修一	元校長
顧問	笠田 恵児	元校長
事務局	千歳市立泉沢小学校 山口 浩 〒066-0054 千歳市柏島2丁目9 TEL0123-28-5830	

旭川教育研究会図工美術部会

役名	氏名	勤務先
会長	渡辺 盛二	旭川市立近文第一小学校 校長
図工美術部顧問	吉田 顕康	旭川市立知新小学校 校長
顧問	菅原 良和	旭川市立豊岡小学校 教頭
部長	森 洋	旭川市立啓北中学校
副部長	岡田 裕紹	旭川市立愛宕東小学校
副部長	中村 靖	旭川市立東陽中学校
副部長	成田 慎司	旭川市立北門中学校
事務局 長	吉野 法行	旭川市立光陽中学校
事務局 次長	庄子 展弘	旭川市立北星中学校
事務局 次長	渡辺 悟史	教育大学付属旭川小学校
会計	大山みのり	旭川市立愛宕小学校
会計	栗林 友恵	旭川市立神居東小学校
研究推進部長	中島 圭介	旭川市立緑が丘中学校
事業部 長	井山 和博	旭川市立永山南中学校
広報部 長	村田 靖彦	旭川市立愛宕中学校
ネットワーク担当	庄子 展弘	旭川市立北星中学校
地区委員	森 洋	旭川市立啓北中学校
事務局	旭川市立光陽中学校 吉野 法行 〒078-8233 旭川市豊岡3条1丁目 TEL0166-31-9177	

後志教育研究会図工美術部会

役名	氏名	勤務先
委員長	嶋影 哲弥	小樽市立入船小学校
連絡先	小樽市立入船小学校 嶋影 哲弥 〒047-0021 小樽市入船3丁目19-1 TEL0134-23-5296	

上川造形教育連盟

役名	氏名	勤務先
会長	佐藤 之憲	中富良野町立南中小学校
副会長	古田 顕康	旭川市立愛宕小学校
副会長	菅原 良和	旭川市立旭川小学校
副会長	鈴木 敬春	当麻町立当麻中学校
顧問	及川 輝夫	元旭川市立永山南中学校
顧問	川合 薫	元富良野市立鹿沼小学校
顧問	加藤 隆	元旭川市立台場小学校
顧問	菅原 敏光	元東川町立東川第三小学校
事務局 長	島本 匡洋	東川町立東川小学校
事務局 次長	刀瀬 典雄	旭川市立台場小学校
事務局 次長	黒田 明美	愛別町立愛別中学校
研究推進部長	中島 圭介	旭川市立緑が丘中学校
連絡先	東川町立東川小学校 島本 匡洋 〒077-1426 上川郡東川町北町1丁目1-1 Tel 0166-82-2425	

渡島美術教育研究会

役名	氏名	勤務先
会長	村岡 壽英	北斗市立谷川小学校
副会長	細川 敬太郎	北斗市立浜分小学校
監査 長	船橋 恭二	鹿部町立鹿部小学校
監査 長	白取 悟	北斗市立沖川小学校
研究部長	高島 純	七飯町立大沼中継開谷分校
研究副部長	三谷 龍二	鹿部町立鹿部中学校
事業部長	木村 麻岐	北斗市立浜分中学校
事業副部長	川村 麻美	長万部町立長万部小学校
庶務部長	石岡 寿子	松前町立白神小学校
会計	小山内 久美子	七飯町立藤城小学校
幹事 長	後藤 征秀	北斗市立上磯中学校
副幹事 長	水口 司	七飯町立七飯中学校
連絡先	北斗市立上磯中学校 後藤 征秀 〒049-0156 北斗市中野通320-4 Tel 0138-73-2076	

留萌地方美術教育研究会

役名	氏名	勤務先
事務局 長	滝本 都子	増毛町立別所小学校
監査・事業部	村元 隆一	増毛町立岡分小学校
事業部	平田 佳子	増毛町立増毛中学校
事業部	河端 寿幸	留萌市立東光小学校
会計・事業部	豊崎 東洋	留萌市立緑丘小学校
事業部長	酒井 典子	留萌市立留萌中学校
副会長・研究部	野島 操	小平町立丸鹿小学校
研究部	梶 香織	苫前町立苫前小学校
研究部長	松岡 宏悦	羽幌町立羽幌小学校
監査役・事業部	久保 奈つき	羽幌町立羽幌小学校
研究部	楠本 健	羽幌町立天売中学校
研究部副部長	西村 徳清	初山別立初山別中学校
会長	斎藤 友昭	遠別町立遠別小学校
研究部	黒川 淳子	遠別町立遠別小学校
事務局次長・研究部	小西 共美	遠別町立遠別小学校
事業部(休職中)	秋元 咲子	遠別町立遠別中学校
事業部副部長	工藤 臣	天塩町立天塩中学校
事務局	増毛町立別所小学校 滝本 都子 〒077-0217 増毛郡増毛町別所148 Tel 0164-53-1037	

函館市美術教育研究会

役名	氏名	勤務先
会長	中村 吉秀	函館市立桐花中学校 校長
副会長	土谷 敏	函館市立えさき小学校 校長
副会長	仲井 靖典	函館市立鱒川中学校 教頭
副会長	佐々木 善恵	函館市立栗小学校
幹事 長	木村 伸仁	函館市立銭亀沢中学校
幹事 長	斎藤 悦子	函館市立桐花中学校
幹事 長	柿崎 雄二	函館市立高丘小学校
幹事 長	西徳 純	函館市立金堀小学校
ネットワーク担当	佐々木 杜一	函館市立深堀中学校
連絡先	函館市立銭亀沢中学校 木村 伸仁 〒041-0263 函館市豊原町140-30 Tel 0138-58-254	

胆振造形教育研究会

役名	氏名	勤務先
会長	佐竹 秀行	むかわ町立鶴川中学校 校長
副会長	佐藤 務	苫小牧市立啓北中学校 校長
事務局 長	前田 求	苫小牧市立緑陵中学校
事務局 次長	大年 教子	苫小牧市立青翔中学校
事務局	苫小牧市立緑陵中学校 前田 求 〒059-1272 苫小牧市のぞみ町3丁目10 Tel 0144-61-2727	

檜山造形教育研究会

役名	氏名	勤務先
会長	茶鏡 谷 穂	江差町立江差北小学校 校長
副会長	谷口 光伸	奥尻町立青苗小学校 校長
事務局 長	花岡 康成	江差町立江差北中学校 教頭
研究部長	佐藤 等	厚沢部町立美和小学校 教頭
事業部長	皆川 一海	上ノ国町立上ノ国小学校 教頭
幹事 長	山本 雅樹	江差町立南が丘小学校
幹事 長	山寺 潤	今金町立今金小学校
事務局	江差町立江差北中学校 花岡 康成 〒043-0017 江差町水堀町147 Tel 0139-53-6022	

苫小牧市教育研究会造形教育会

役名	氏名	勤務先
部会長	石井 浩昭	苫小牧市立大成小学校
副部会長	松柳 安希子	苫小牧市立拓穂小学校
副部会長	大年 教子	苫小牧市立青翔中学校
理事	竹内 友紀	苫小牧市立北星小学校
理事	長谷川 佳菜未	苫小牧市立啓北中学校
幹事 長	富塚 益美	苫小牧市立明野小学校
連絡先	苫小牧市立明野小学校 富塚 益美 〒053-0054 苫小牧市明野新町6丁目3-1 Tel 0144-57-5611	

室蘭市造形教育研究会

役名	氏名	勤務先
委員長	佐藤 宏茂	室蘭市立桜蘭中学校
連絡先	室蘭市立桜蘭中学校 佐藤 宏茂 〒050-0076室蘭市知利町1丁目11番 TEL0143-44-3758	

日高造形教育研究会

役名	氏名	勤務先
会長	神成 浩	浦河町立秋伏中学校 校長
副会長	中島 洋一	日高町立日高小学校 教頭
会計監査	小松 和弘	日高町立平小学校 教頭
会計監査	福田 伸幸	平取町立紫雲古津小学校
事務局長	伊藤 孝三	平取町立紫雲古津小学校 校長
事務局次長	沼田 しずか	浦河町立湧町小学校
会計委員	牧野 裕子	新ひだか町立静内第三中学校
事務局	平取町立紫雲古津小学校 伊藤 孝三 〒055-0104平取町紫雲古津38-5 TEL01457-2-2781	

釧路造形教育研究会

役名	氏名	勤務先
委員長	奥田 泰朗	弟子屈町立昭栄小学校 校長
副委員長	森 富輝	浜中町立柳町小学校 校長
副委員長	小野 三枝子	釧路市立釧路小学校 教頭
副委員長	内山 博之	標茶町立中御幸別小学校 教頭
副委員長	志藤 英樹	釧路市立桜ヶ丘小学校 教頭
ネットワーク担当 地区委員(事務局長)	若林 照子	北海道教育大学附属釧路小学校
	杉山 浩彰	釧路市立美原中学校
事務局	釧路市立美原中学校 杉山 浩彰 〒085-0065釧路市美原4丁目7-1 TEL0154-37-1171	

根室造形教育連盟

役名	氏名	勤務先
委員長	長谷川 恵美子	根室市立井和小学校
副委員長	林 大祐	標津町立川北中学校
事務局長	外川 篤司	別海町立上風連小学校
事務局次長	小出 秀朋	中標津町立丸山小学校
研究部長	大橋 晃広	中標津町立中標津中学校
研究副部長	岩倉 真妃	別海町立上西春別小学校
会計監査	木庭 さち	中標津町立広陵中学校
理事	品田 ちよみ	根室市立盛興中学校
理事	森 あゆみ	別海町立中春別中学校
理事	木庭 さち	中標津町立広陵中学校
理事	鈴木 将大	標津町立標津中学校
顧問	山口 長伸	別海町教育長
顧問	清水 克美	中標津町 画家
顧問	桐沢 享	根室市 樹笑の森美術館長
顧問	紺見 浩	中標津町 版画家
顧問	本川 勝敏	根室市 写真家
顧問	煤賀 克文	根室市 版画家
顧問	小野 寺 宏二	美瑛町
顧問	大井 誠一郎	標津町教育委員会
事務局	別海町立上風連小学校 外川 篤司 〒086-0131別海町上風連18-4 TEL0153-75-7102	

オホーツク造形教育連盟

役名	氏名	勤務先
委員長	光成 英二	北見市立雄野小学校 校長
副委員長	吉田 寛	北見市立美山小学校 校長
副委員長	西村 榮基	斜里町立斜里中学校 校長
副委員長	中村 信之	雄武町立雄武小学校 校長
監査	石橋 一郎	網走市立湖見小学校 校長
監査	北野 浩幸	湧別町立湖陵中学校 校長
事務局長	里見 貴史	北見市立留辺美小学校 教頭
事務局次長	添田 好美	網走市立中央小学校
事務局次長	平岡 良一	北見市立北光小学校
ネットワーク担当 (研修部長兼務)	塩浦 亜紀	網走市立湖見小学校
組織部長	小野 寺 哲浩	北見市立雄野中学校 教頭
広報部長	大野 忠宏	津別町立津別中学校
理事	平田 和史	網走市立第三中学校 教頭
理事	原田 信子	北見市立小泉小学校
理事	赤岩 穂靖	訓子府町立訓子府小学校
事務局	北見市立留辺美小学校 里見 貴史 〒091-0033北見市留辺美町栄町18 TEL0157-42-2055	

帯広市教育研究会図工美術部会

役名	氏名	勤務先
会長	辻 敏郎	帯広市立帯広第五中学校
部長	根岸 邦昌	帯広市立西陸中学校
副部長	橋本 英子	帯広市立広陽小学校
事務局長	梅津 美香	帯広市立帯広第二中学校
事務局次長	村中 鉄也	帯広市立帯広第一中学校
ネットワーク担当	村中 鉄也	帯広市立帯広第一中学校
地区委員	梅津 美香	帯広市立帯広第二中学校
事務局	帯広市立第二中学校 梅津 美香 〒080-2474帯広市西24条南1丁目7 TEL0155-37-2010	

十勝造形サークル

役名	氏名	勤務先
委員長	石割 章浩	本別町立山美里中学校
事務局長	小泉 佳一	幕別町立札内中学校
事務局	幕別町立札内中学校 小泉 佳一 〒089-0553中川郡幕別町札内文京町29 TEL0155-56-2015	

全道造形教育研究大会 帯広・十勝大会 大会組織

大会役員

大会委員長	稲 實 順	札幌市立旭小学校長
大会副委員長	島渡中奥後益齋寺 田辺村田藤村藤本 盛吉泰和 隆吉 茂二秀朗司豊博明	石狩市立緑苑台小学校長 旭川市立近文第一小学校長 函館市立桐花中学校長 弟子屈町立昭栄小学校長 札幌市立平岸中学校長 札幌市立資生館小学校校長 北海道造形連盟顧問 北海道造形連盟顧問
大会運営委員長	辻 敦 郎	帯広市立帯広第五中学校長
副運営委員長	佐野悦子 石割章雅 今森正淳 黒田野 一	幕別町立忠類中学校校長 本別町立仙美里中学校教頭 帯広市立若葉小学校教頭 帯広市立花園小学校教頭 学校法人帯広葵学園つつしが丘幼稚園園長
大会事務局長	根 岸 邦 昌	帯広市立西陵中学校
事務局次長 事務局部員	小神泉佳一 村下朋実 入江鉄映也	幕別町立札内中学校 幕別町立札内東中学校 帯広市立帯広第一中学校 帯広市立川西中学校
大会研究部長	梅 津 美 香	帯広市立帯広第二中学校
研究副部長 研究部員	橋本英子 藤本郁美 土橋直美 金子直里 野圭さゆみ 白上田美ゆみ	帯広市立広陽小学校 幕別町立幕別中学校 更別村立上更別小学校 帯広市立北栄小学校 帯広市立大空小学校 幕別町立忠類中学校 帯広市立南町中学校
大会記録部長	坂 東 学	音更町立下音更中学校
記録副部長 記録部員	澤田佳子 奥村美智 岡島飛鳥 小田上嘉晃 佐々木嘉晃 塩田中 ますみ 西 中	帯広市立帯広第八中学校 帯広市立帯広第四中学校 音更町立鈴蘭小学校 清水町立清水中学校 中札内村立中札内中学校 北海道立帯広三条高等学校 音更町立下音更中学校

大会庶務部長	高橋 絵理子	帯広市立帯広第五中学校
庶務副部長 庶務部員	嵐田 美智子 松本 富治 森本 好広子 大野 洋靖代 高田 健治	士幌町立士幌町中央中学校 帯広市立緑園中学校 帯広市立明和小学校 音更町立共栄中学校 音更町立下音更小学校 芽室町立芽室中学校

大会事業部長	斎藤 卓	音更町立緑南中学校
事業副部長 事業部員	梅津 和行 佐々木 芳徳 眞鍋 幸恵 村上 一子 市川 寿俊 西島 貴	帯広市立つつじが丘小学校 本別町立本別中学校 上士幌町立上士幌中学校 北海道立帯広柏葉高等学校 浦幌町立浦幌中学校 池田町立池田中学校

大会協力員 帯広市教育研究会 図工・美術部会員

松本 美佳 (帯広小)	森 里子 (西小)	利光 涉 (西小)
讚岐 明 (柏小)	西 香織 (柏小)	兒玉明日香 (柏小)
新沼 愛 (明星小)	土屋 英之 (緑丘小)	早川 ゆう (緑丘小)
川端 誠 (緑丘小)	木村文光子 (北栄小)	櫻井 拓 (北栄小)
仁井田美香 (北栄小)	三木 俊治 (北栄小)	寺澤 一 (北栄小)
中村 拓史 (光南小)	柳田多津子 (東小)	井須 雅人 (稲田小)
井上 隆 (稲田小)	杉山 明夫 (稲田小)	山口 佳子 (大空小)
尾山麻衣子 (大空小)	小林 弘幸 (栄小)	和田 浩一 (栄小)
吉岡 謙作 (栄小)	本田 香織 (栄小)	小原 博親 (若葉小)
森田 裕美 (若葉小)	山内 真樹 (若葉小)	大野 英美 (若葉小)
山崎 真 (広陽小)	平野 智子 (広陽小)	岩村 美希 (広陽小)
工藤 純子 (広陽小)	山口 浩二 (広陽小)	山本 齊 (花園小)
藤崎まゆみ (啓北小)	穴戸 文絵 (啓北小)	坂田 香織 (啓北小)
石原 くみ (啓北小)	安村 美幸 (開西小)	関谷 智子 (開西小)
斉藤 早苗 (明和小)	菅原 良子 (明和小)	戸塚 光男 (森の里小)
中島 善久 (森の里小)	木下 桂子 (森の里小)	穴戸あや子 (川西小)
高原 美帆 (川西小)	高橋 典子 (清川小)	小野 志保 (大正小)
豊原 初美 (大正小)	大山千歌子 (愛国小)	柏木 昌光 (愛国小)

帯広市立帯広第五中学校教職員 (会場校)

辻 敦郎校長	山田 知史教頭		
松久 温樹	豊田 浩平	佐久間 敦子	高橋 絵理子
山本 信江	渡辺 弘司	藤崎 博人	伊藤 啓展
湯山 恵介	堂山 貴也	国島 辰也	川岸 仁
出村 聖	龜谷 直樹	和田 芳美	山崎 千寿子
長谷部 憲昭	関 尚彦	高橋 哲子	千田 真紀
中川 裕	玉田 良太	本田 誠	池本 昌範
豊田 恵子	黒川 恵美子	佐藤 敏教	山内 博行

開催場所のご案内

帯広第五中学校・帯広美術館・緑ヶ丘公園・レセプション会場



ようこそお越し下さいました。研究大会関連会場のご案内です。
各会場でみなさまと楽しい時間を過ごせますよう、準備いたしております。
移動の際には交通安全にお気をつけ下さい。

※帯広第五中学校（メイン会場）～帯広美術館（授業会場）

約1.5キロ 車で約7分 徒歩約17分

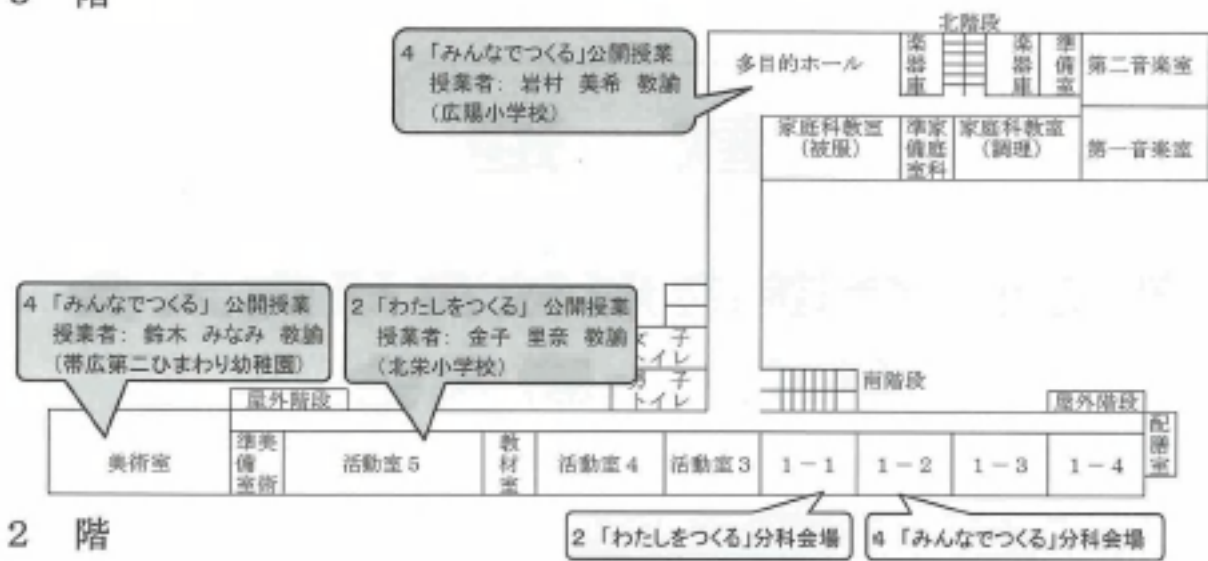
※帯広第五中学校～ランチョ・エルパソ（レセプション会場）

約1.0キロ 徒歩で5分

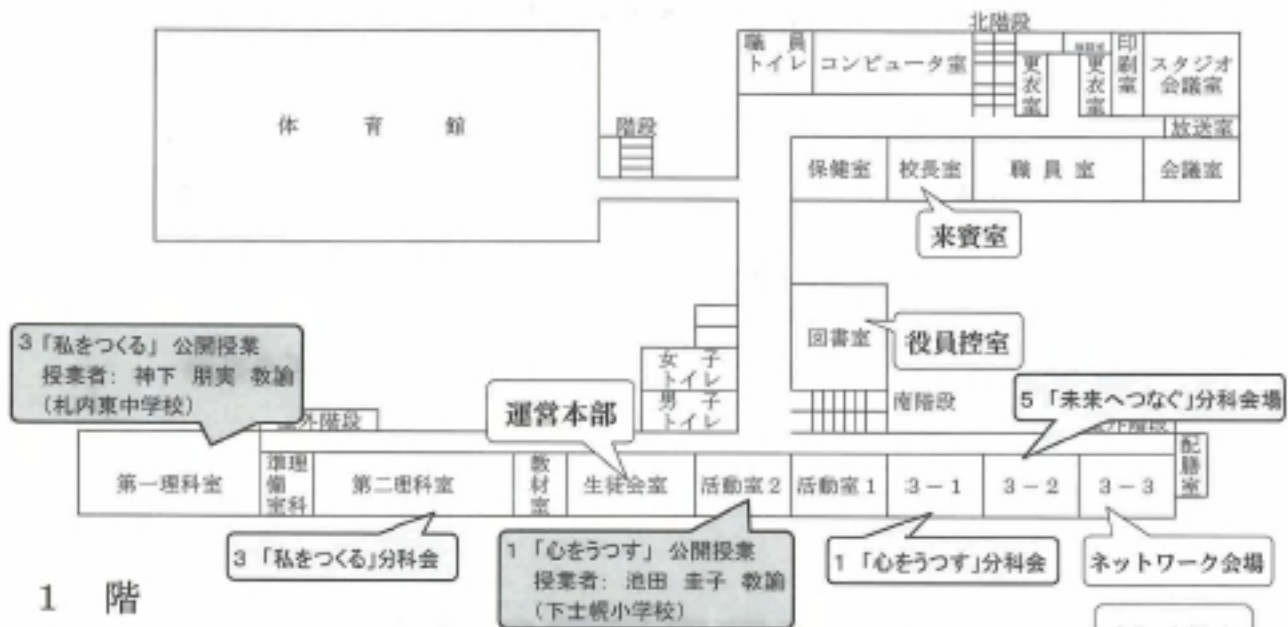
お車でお越しの際は、緑ヶ丘公園内美術館駐車場をご利用下さい。（徒歩2分）
シャトルバスを運行いたしております。（詳しくは会場受付にお問い合わせ下さい。）

第62回全道造形教育研究大会（十勝・帯広大会） 会場図

3 階



2 階



1 階



正門

歡 迎

**第62回 全道造形教育研究大会
帯広・十勝大会**

帯広・十勝地区代理店

サクラクレパス	新日本造形	美術出版社サービスセンター	オリエントエコー
ターナー色彩	パ ジ コ	彩 光 社	フジワラ化学
クラフテリオ	昭 和 教 材	誠 文 社	アーテック
はくぶん	大和科学教材	昭 和 教 材	スズキ楽器

21世紀の教育環境を創造する



株式 杉山商会
会社

本 社 / 帯 広 市 西 9 条 南 1 4 丁 目 電 話 (0155)26-3111
FAX (0155)26-3116
E-mail: obihiro@sugiyama-syokai.co.jp

釧 路 店 / 釧 路 市 愛 国 東 4 丁 目 1 3 電 話 (0154)37-3111
FAX (0155)37-3116
E-mail: kusiro@sugiyama-syokai.co.jp

帯 広 教 育 セ ン タ ー / 帯 広 市 西 9 条 1 4 丁 目 電 話 (0155)21-5111
FAX (0155)26-3116



祝 第62回 全道造形教育研究大会 帯広・十勝大会

ni ha
i no syuppan wo hajime
yo-"digital"kyokasyo,"digital"
ippan-syoseki nadono
ri kansuru kainatsu ya
joho wo zenkoku no
be muvee tassin shite



Nihonbunkyo-syuppan (nichibun) ha
kyozai no syuppan wo hajime
kyoshiyo-"digital"kyokasyo,"digital"
kyozai,ippan-syoseki nadono
kyoku ni kansuru kaihaitsu ya
kanrenjoho wo zenkoku no

日本文教出版株式会社

www.nihibun-g.co.jp

■東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16 TEL.03-3389-4611 FAX.03-3389-4618
■大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区瑞住吉4-7-5 TEL.06-6692-1265 FAX.06-6606-5171
■北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9条12丁目1-1
TEL.011-764-1201 FAX.011-764-0690

開隆堂の図画工作・美術教材

新学習指導要領対応
よくわかる**図画工作科『評価』**のしかた

佐々木達行・小林貴史 編著



低学年/中学年/高学年 全3冊
各 B5判/96ページ/カラー
定価各 2,415円(本体 2,300円)

「図画工作科の『評価』はわかりにくい」という声に応え、タイプの異なる3～6名の児童の授業での活動過程を追い、『評価』のポイントをわかりやすく解説しました。

新学習指導要領を読み解く
よくわかる**図画工作科**新学習指導要領
ビジュアル解説 授業への生かし方

藤澤英昭 監修 石賀直之/西村徳行/三澤一実 共著



B5判/96ページ/カラー
定価 2,415円(本体 2,300円)

児童の作品や活動の写真を120点以上も掲載し、新学習指導要領の内容をイメージしやすく示しました。

第8章では、図画工作科の指導での悩みや疑問18項目をワンポイント解説しています。

特別支援教育用 図画工作学習指導書 特別支援版

執筆 榎原弘二郎/大石幸二 ほか10名 B5判/箱ケースセット(分売不可) 定価 13,650円(本体 13,000円)

図工だからできること、図工でしかできないことを特別支援学級・学校の先生方や子どもたちに提案いたします。図画工作科のさまざまな活動を通して、子どもたちが心身ともに育っていく、そんな指導用教材です。



この商品は毎日教販(販売部:TEL.048-441-9363)にご注文ください。

●活動事例編
障害のタイプや程度が異なる児童の活動を授業の流れに沿って解説した題材集!

●みんなで工作編
1頁1題材を基本に、つくり方や用具の使い方などをていねいに解説!

●授業の研究 DVD
特別支援学級での実際の図画工作の授業3本を収録。授業改善のヒントに!

美術図書教材 新美術表現と鑑賞

A4判 160ページカラー 定価 720円(本体 686円)



表現のための基本的な技法の学習と、作家作品の鑑賞が1冊でできる便利な美術資料集です。

制作の手順や用具の使い方をていねいに紹介しています。巻末14ページの年表で、日本・アジア・西洋の美術史を比較しながらコンパクトに学べます。

新学習指導要領対応 図画工作でつく学力はこれだ! 一ひと目でわかる指導と実践のポイント

藤澤英昭/柴田和豊/佐々木達行/北川智久 共編著
A4判 64ページカラー 定価 2,100円(本体 2,000円)



図画工作で培える学力は何か、どのような活動や表現を通してそれが培えるのかを具体的な活動実践や作品で示しました。指導・評価のあり方、児童への具体的な声かけなどすぐに役立つ授業案が、簡潔にわかりやすく展開してあります。



開隆堂出版株式会社

本社: 〒113-8608 東京都文京区向丘 1-13-1
北海道支社: 〒080-0061 札幌市中央区南1条西6-1 札幌北辰ビル8階
東北支社: 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町 1-11-1 萩野町 Mビル2階
名古屋支社: 〒464-0802 名古屋市中区星が丘元町 14-4 星ヶ丘プラザビル6階
大阪支社: 〒550-0013 大阪市西区新町 2-10-16
九州支社: 〒810-0075 福岡市中央区港 2-1-5FYCビル3階

発行物のご案内はホームページをご覧ください。
<http://www.kaikudo.co.jp/>

TEL 03-5684-6118/FAX 03-5684-6155
TEL 011-231-0403/FAX 011-231-0404
TEL 022-782-8511/FAX 022-782-8513
TEL 052-789-1741/FAX 052-789-1743
TEL 06-6531-5782/FAX 06-6541-3425
TEL 092-733-0174/FAX 092-733-0719

いつでも、どこでも持ち運べる糸のこ

SUZUKI

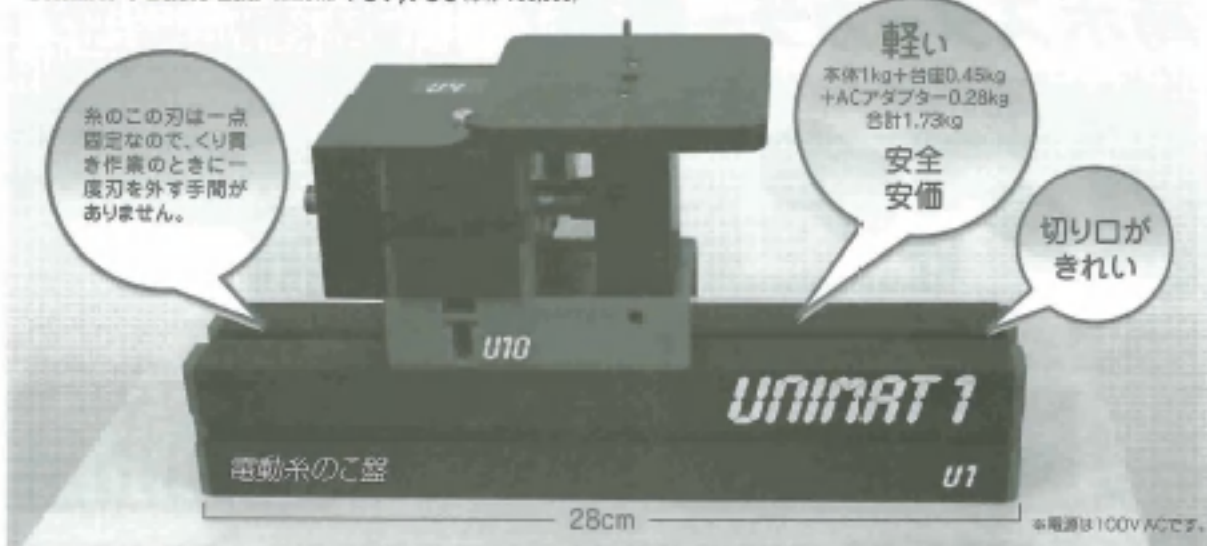
教育用 工作機械 ユニマツト

電動糸のこ盤・簡易旋盤・サンダー・電動ドリル



だから子どもたちにも扱いやすく安心。

UNIMAT 1 Basic Edu 税込価格 ¥39,900 (本体 ¥38,000)



清水楽器販売株式会社 北海道営業所 〒064-0809 北海道札幌市中央区南9条西11-1270-5 TEL:011-551-8911 FAX:011-562-1908

暮らしを明るくカラフルに
Washin Paint



ニスの **和信**

永年蓄積された専門メーカーとしての経験と技術を生かし、高品質で、人と期度にやさしい塗料づくりを行っています。

選ばれる理由があります。

それは、ワシンのニスを使った喜びと感動が、語り受け継がれているからです。

<http://www.washin-paint.co.jp>

和信ペイント株式会社

〒340-0121 埼玉県草市市上古羽2100-18
お客様センター：☎0480-48-2725

SAKURA

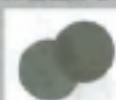
SAKURA POSTER COLOR EX

サクラ ポスターカラー EX

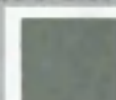


塗り重ねが簡単・きれいな 新ポスターカラー発売!

下の色が溶けずに重ね色できるため、
塗り直しや修正が
きれいに仕上がります。



水が滲んでも
跡が残りません。



8色セット



12色セット(13本入り)



株式会社 **サクラクレパス**

大阪 〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 TEL(06) 6810-8800 (代) 札幌営業所 (011) 820-1720 (代)
名古屋営業所 (052) 991-7641 (代) 東京 〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-20-16 TEL(03) 3862-3911 (代) 大分営業所 (097) 474-1102 (代)

<http://www.craypas.com>

お客様相談室 (06)6910-8818 【土・日・祝日・弊社休日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00 受付】

Kクレイで フェイクスイーツ

クッキー・ケーキ
フルーツ



クラフテリオ



Kクレイって
色々つくれる
楽しい粘土だよ



クッキー

カップケーキ

マールアイス

チョコレートポッキー

ホットケーキ

「クラフテリオ」で検索して下さい

クラフテリオ 検索

図工・美術教材総合メーカー
株式会社クラフテリオ

お電話 / FAX
お問い合わせ先

〒577-0024 大阪府東大阪市荒本西4丁目4番14号
TEL.06-4308-1138 FAX.06-4308-1139
<http://www.crafteriaux.co.jp>

祝 第62回 全道造形教育研究大会 帯広・十勝大会

図画工作科教材

かんたん 彩色木はん画

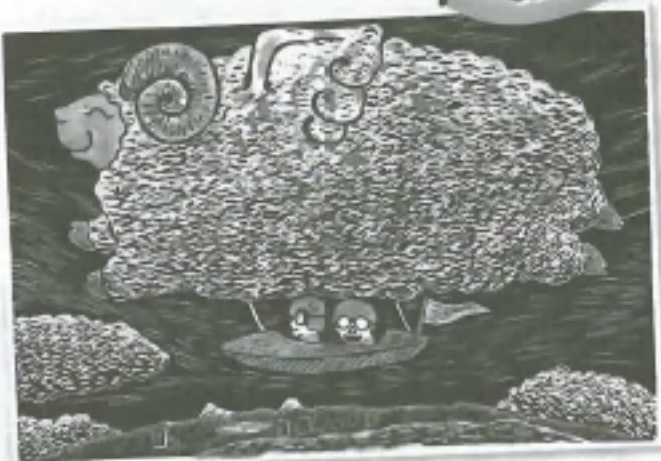
ほって! すって! ぬるだけ!

1版でカラフルな作品ができる!

刷り上がった作品の裏側から絵の具で着色するだけで
きれいな彩色版面になります。

裏側の色付は
水彩絵の具でOK!

下地が簡単に写せる!
下地用紙と
カーボン紙付



A型 カラー版木
0.4×30.0×45.0cm

B型 カラー版木
0.4×25.0×35.0cm

学納価 ¥340

学納価 ¥230

小学校の教科書に準拠した図工教材を取り揃えております。



株式会社 大和科学教材研究所



TEL 06-6709-2864 (代) / FAX 06-6799-3273

大和科学教材研究所



<https://www.daiwa-e.com/>

図画工作 ずこうクレヨン

日本製 図画工作科用描画材 (小学校 1-6 年生)

教科書準拠
描画材

ずこうクレヨン



15色 (国産) / PTC091-15



ペットボトル

家は、いろんな物に描けるんです。

中身パック	卵パック	ちまろハン
ガラス	アルミホイル	ビニール紙
発泡スチロール	食品トレイ	段ボール箱

ク
レ
ヨ
ン
で
す。

授
業
で
使
う

子どもに見えて、
おとなに見えないものとは――

「対話による美術鑑賞」の重要性に、教育の
立場からいち早く注目し、学校教育への応
用と普及に長年取り組んできた著者が、子
どもたちの豊かな想像力を通して、美術本来の
自由な世界を紹介します。

私の中の自由な美術

上野行一 著

定価 1,995 円 (本体 1,900 円+税)

ISBN978-4-89528-601-5

自由な美術



私の中の

鑑賞の喜びと育む力

上野行一
Kazuyuki Ueno

子どもに見えて
おとなに見えないもの…
美術の自由な世界を
失わないために。

PI1008

光村図書出版株式会社

〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 TEL.03-3493-2111
<http://www.mitsumura-tosho.co.jp>


JTB 感動のそばに、いつも。

あたらしい旅の一步をお約束します


お客様ひとりひとりの旅の夢を叶えるために。
私たちは、みなさまにとって快適で安心できる旅をお手伝いするために、
豊富なネットワークと、
みなさまと共に歩み積み重ねた経験から、夢を育む旅をご提案いたします。
あたらしい旅との出会いは JTB へお任せください。

個人旅行から団体旅行まで、国内・海外の各種プランをご提案いたします
株式会社 JTB北海道 帯広支店

〒080-0012 帯広市西2条南11丁目
TEL.0155-22-7451 FAX.0155-22-6878

 **株式会社 スタジオタカノ**

北海道支社/北海道帯広市西18条南3丁目52-3
TEL 0155-66-6644 FAX 0155-33-2944
本店(スタジオ) 東京都小金井市本町5-38-41
〒184-0004 TEL.042-385-8850 FAX.42-387-2721

 **株式会社 田代楽器**

TEL.0155-67-1110 FAX.0155-67-1113
〒080-2470 帯広市西20条南5丁目22番7号
tashiro-gakki@aqua.ptala.or.jp

祝・第62回全道造形教育研究大会 帯広・十勝大会



これならわかるアートの歴史

ジョン・ファーマン/著, 野村幸弘/熊谷吉浩/訳 **普及版**

洞窟壁画の無名人から現代アートの巨匠群まで
美術の流れとその真髄をユーモアやパロディで
説いた偏屈男の正統美術史。

ISBN: 978-4-487-80587-7 定価: 1,365円 (本体 1,300円)



〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 TEL.03-5390-7531 FAX03-5390-7538
北海道支社 〒064-0806 札幌市中央区南6条西14-1-5 札幌東書ビル Tel011-562-5721 Fax011-562-5492
<http://www.tokyo-shoseki.co.jp>

光から学ぶ、LEDライトシリーズ



LEDライト

学納価格 ¥280 (税込)

単に照明だけでなくインテリア、水、音、香りのLEDライトも、海外の子ども、学生、教員に。

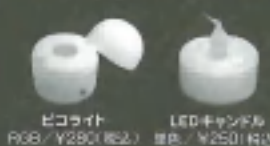


LEDタッチライト 【ホワイト】

学納価格 ¥230 (税込)

550種類の色LEDも、タッチで操作、ON/OFFできる。フックで吊るして使うことも可能。7色LED電球もLED電球も対応。

★ミニサイズのLEDライト★



ピコライト P38 / ¥290 (税込) LEDキャンドル 白色 / ¥250 (税込)

★使いやすい軽量粘土★



スーパーカールM 50g 20g / ¥90 (税込) スーパーカールM-S 10g / 15g (税込)



PADICO 株式会社パジコ 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-2 Tel.03-6272-5221 <http://www.padico-school.jp>

祝 第62回全道造形教育研究大会 帯広・十勝大会

感性を刺激し、つくる楽しさと喜びを味わえる
児童・生徒用教材をお届けします!!

版画セット・彫刻刀
各種取り揃えております!!



一歩先を見つめる教材のパイオニア
株式会社 誠文社
SEIBUNSYA CO.,LTD.

高級彫刻刀(付削鉛)7本組



本社: 〒580-0962 大阪府堺市堺区海山町3丁149
営業直通 TEL. (072) 227-7915 (代表) FAX. (072) 227-7953 (代表)
ホームページ <http://www.seibunsysa.co.jp>

人、街、夢
あなたの幸せが
ふるさとの
笑顔です。



十勝のコミュニティバンク
帯広信用金庫

理事長 増田 正二

帯広市西3条南7丁目2番地 ☎(0155)24-3171

<http://www.shinkin.co.jp/oblshin/>

平原社美術協会

事務局/〒080-0812 帯広市東12条南6丁目1-25 TEL0155-27-2866 瀧川秀敏 方



2012年度図工・美術カタログ

図工・美術の
教材が満載の
カタログです

177ページ 掲載

NEW

両面白ボール紙の簡易式屏風です。
屏風の小型複製として最適です。

SN-白シート屏風づくり

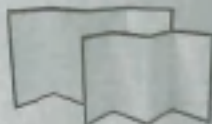
517-067 小 ¥350 (x324)

517-068 中 ¥370 (x325)

ホサイズ: ¥230×¥200㎜ (2つ折り仕上げ加工) 2枚入

中サイズ: ¥300×¥250㎜ (2つ折り仕上げ加工) 2枚入

両面白ボール紙、紙テープ白・赤、糊接着



作例

日本の美しさを屏風に描いて表現しよう

日本の美術を代表する屏風。

平面描画とは違う、空間を意識した表現、箔を使ったより装飾的な表現など日本の伝統的な美を表現してみましよう。

<http://www.snz-k.com/>

図工・美術 教材&備品

新日本造形株式会社

本社

〒165-0025 東京都中野区新井1-42-8
TEL. 03(3386)1221 (FAX) 03(3386)5111

支店

〒537-0003 大阪府東淀川区神島1-10-6
TEL. 06(9674)5111 (FAX) 06(9674)2800

額縁・画材のことなら当店へ

- 一般額縁 (注絵額・水彩額・色紙額・写真額等)
- 収納額・別注額
- 一般画材・文具・紙製品

(有)ありた画材額縁店

帯広市西1条南10丁目19 TEL (0155) 23-3236

繪 屋
SINCE 1976

帯広市西18条南5丁目1-94 TEL41-3181

営業時間/〔平日〕午前11:00~午後10:00
カフェレストラン絵屋〔日曜日〕午前11:00~午後 9:00(無休)

鑑賞授業?とお困りの先生方へ

BSSの鑑賞教材シリーズ

SCOPE



スコープ

POSTCARD EDITION

アートポストカード集

Vol.1 小学生以上30枚セット 9,400円(税込)

Vol.2 中学生以上65枚セット 12,600円(税込)

作品解説書と授業実践例が満載のガイド付きです。カード作品は  使用は画用紙  推奨です。



美術出版サービスセンター

EIJUTSU SHUPPAN SERVICE CENTER CO., LTD.

〒162-0845 東京都新宿区戸谷本町2-19 電話: 03-3260-2300 FAX: 03-3267-0789

子供たちのすばらしい将来のお手伝い



昭和教材株式会社

本社 広島県廿日市市大東6-17 (〒738-0006)
TEL (0829) 32-5111 (代) FAX (0829) 31-3111
東京支店 東京都板橋区舟渡2-34-5 (〒174-0041)
TEL (03) 3967-3561 (代) FAX (03) 3967-3564

全国をネットワークの昭和教材

カードの色120色が裏面の混色比率で簡単に作れます!

混色カード

実用新案登録済

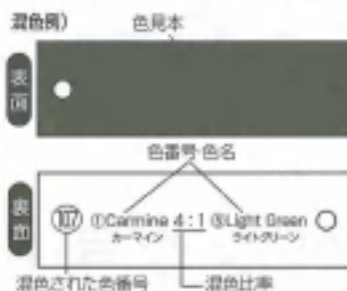
012993 ポスターカラー用 120色

013113 アクリルガッシュ用 120色



NEW

番税込 ¥315 (本体¥300) ■サイズ:100×30×厚み約12mm



色彩豊かな混色カードは、色の勉強に最適!

ArTeC



カーマイン ライトグリーン

4 : 1

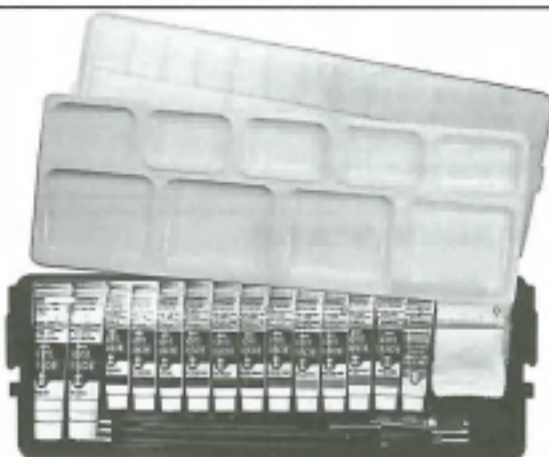


①カーマインと③ライトグリーンを4:1の割合で混ぜると、色見本の茶色が作れます!

アーテック

株式会社

本社 / 〒581-0068 大阪府八尾市北龍井町3-2-21
TEL 072-990-5509 FAX 072-990-5525



絵具セットの新スタンダード!

ターナー クリエイトセット

- ◆20mlホワイト2本入り。
- ◆ガッチリ止まるスライド式接合採用。
- ◆抗菌樹脂採用で清潔、キレイ。
- ◆極限までスリム化を追求。

※ ポスターカラー、アクリルガッシュの二種類有。

現代化教育機械器具の総合コンサルタント

株式会社 **アサヒ商会**

帯広市西5条南5-4-3 ☎(0155)25-2222
FAX(0155)21-3574



株式会社 **国光写真スタジオ**

〒080-0010 北海道帯広市大通南26丁目20番地1
TEL 0155-21-9232 FAX 0155-25-9232
e-mail/kunimitu_ps@mac.com

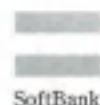
さわやかな旅だち

観光庁長官登録旅行業第55号

 **名鉄観光**

〒080-0013 帯広市西3条南12丁目(帯広駅前)
☎(0155)25-0471(代) FAX(0155)21-5010
E-mail:obihiro@mwt.co.jp

ソフトバンク帯広中央



代表取締役 **とび 飛 岡 抗**

本社 株式会社ヒグマ 〒080-0027 帯広市西17条南3丁目48番15号
TEL(0155)38-1185(代) FAX(0155)38-7519
ソフトバンク帯広中央 〒080-0018 帯広市西8条南1丁目3番1
TEL(0155)24-1313 FAX(0155)24-1333
ソフトバンク旭川中央 〒070-0033 旭川市3条買物公園ヨシタケパークビル1F
TEL(0168)22-1888 FAX(0168)22-1933
<http://www.higuma-denki.co.jp>
E-mail:higu110@seagreen.ocn.ne.jp

海の幸・太陽の幸を真心でバック 海産物・高級珍味・専門卸問屋



株式会社 **不二屋**

本社 〒080-0022 帯広市西12条南17丁目1 TEL(0155)(24)7766
旭川支店 〒078-8238 旭川市豊岡8条5丁目5-21 TEL(0166)(32)2516 売店 エスタ帯広店・ドンキョーテ長崎屋西帯広店・ドンキョーテ長崎屋旭川店

ジングスキャン・ホルモンの

大楽町

〒080-2473 帯広市西23条南1丁目39番地
☎(0155) 37-2805・FAX(0155) 37-2035

- 営業時間/AM11:00~PM9:00(オーダーストップ)
- 定休日/毎週火曜日(祝日の場合は翌日水曜日)

◆企画 ◆デザイン ◆撮影 ◆印刷全般
◆スピード名刺~カラーポスターまで

印刷

のことならおまかせください。



株式会社 **アド・プリント**

〒080-0803 帯広市東3条南8丁目17番地
TEL 0155-22-3463 FAX 0155-22-3408
E-mail: add@addd.co.jp

あかげさまで57年

心のふれあいを大切に...

矢戸印刷

〒080-0032 帯広市西2条北1丁目15番地
☎0155-22-1616 ☎22-1617

名刺・はがき・製本・写真加工他

店舗・賃貸マンション・賃貸アパートの企画・設計・リフォーム
新築住宅・マンション・アパート等住まい探し、お気軽にご相談下さい

一級建築士事務所北海道知事登録 第(十)383号



(有) 齊藤建設

北海道知事免許十勝(3)第597号・不動産部

代表取締役 齊藤 輝治

TEL.0155-33-3528 FAX.33-3694
帯広市西17条南5丁目2番地



お食事・ご宴会
ふじもり

株式会社 藤森商会



インディアン

本社(代表)☎0155-26-2226
URL: <http://www.fujimori-kk.co.jp>
E-Mail: staff@fujimori-kk.co.jp

教職員共済指定工場

クルマにやさしいおもいやり

ロータス日昇車輛(株)

帯広市東2条南5丁目5 TEL.0155-22-4648



株式会社

エーアイホームズ

〒080-0803 帯広市東3条南10丁目4番地 2階241F
TEL.0155-20-5533 FAX.0155-20-5566
A.I.HOMES, INC. <http://www.aih.jp>

事務用品・教材

古川商会

帯広市白樺16条東13丁目2
電話36-2731 FAX36-4477



有限会社 拓美印刷

〒080-0018 帯広市西8条南3丁目9-2
TEL 0155-22-8787 FAX 0155-22-8383

第62回 全道造形教育研究大会帯広・十勝 研究紀要

発行者 大会運営委員長 辻 敦郎（帯広市立帯広第五中学校長）

大会事務局 帯広市立西陵中学校内 根岸 邦昌

〒080-0028 帯広市西18条南2丁目2

℡ (0155) 33-3007 FAX (0155) 33-9249

発行日 2012年7月27日

印刷所 (有) 拓美印刷

〒080-0018 帯広市西8条南3丁目9-2

℡ (0155) 22-8787 FAX (0155) 22-8583

